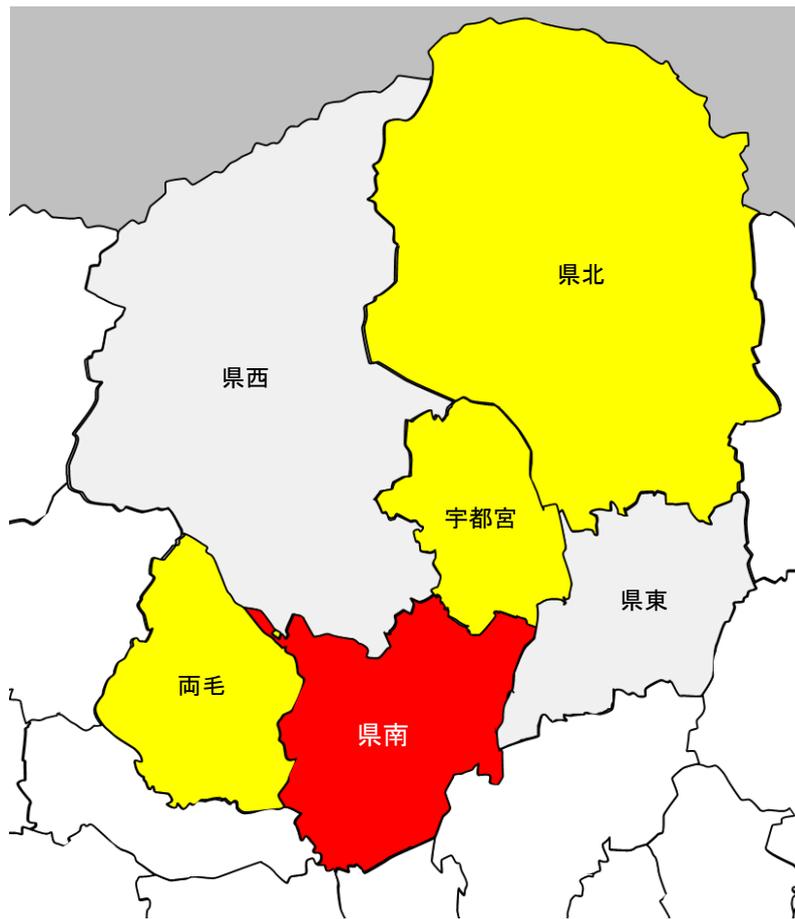


9. 栃木県

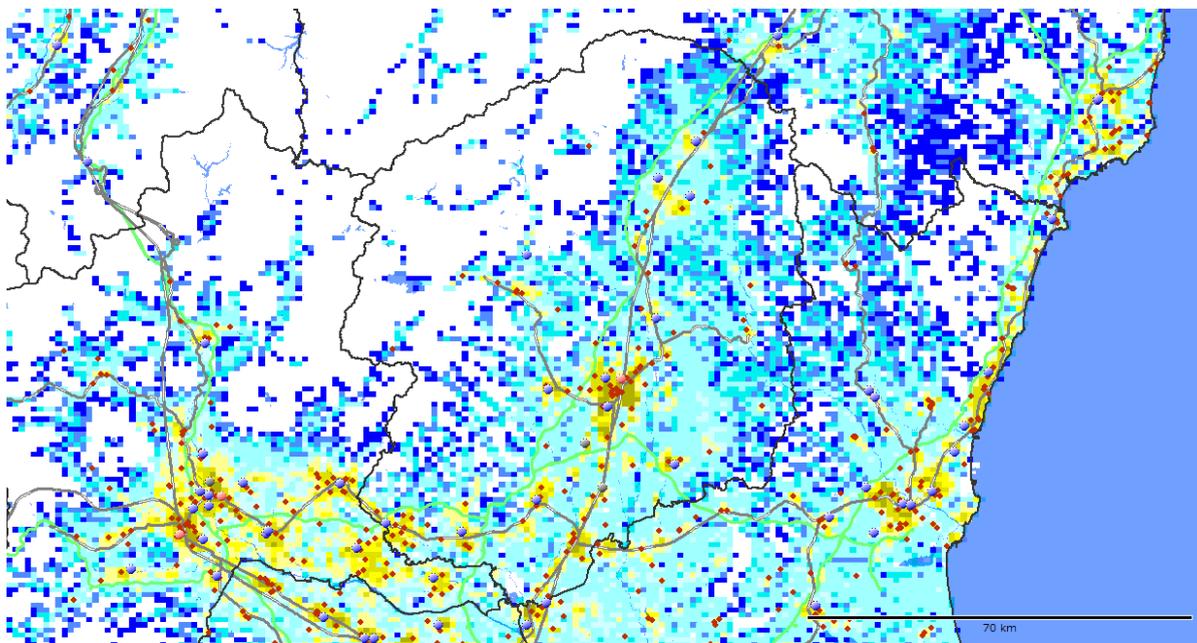


目次

栃木県	9 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	9 - 8
1. 県北医療圏	9 - 20
2. 県西医療圏	9 - 25
3. 県東医療圏	9 - 30
4. 宇都宮医療圏	9 - 35
5. 県南医療圏	9 - 40
6. 両毛医療圏	9 - 45

9. 栃木県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(栃木県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 栃木県は、総人口約1974千人(2015年)、面積6408km²、人口密度は308人/km²である。

*人口の将来予測： 栃木県の総人口は2025年に1867千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に1643千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の239千人が、2025年にかけて322千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には347千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 栃木県の一人当たり医療費(国保)は313千円(偏差値43)、介護給付費は226千円(偏差値42)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 栃木県の一人当たり急性期医療密度指数²は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.85で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が48(病院医師数49、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 栃木県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、22755人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が14530床(偏差値49)、高齢者住宅等が8225床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、18407人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム41、軽費ホーム57、グループホーム45、サ高住55である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値40と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、2204人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-40%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

栃木県の総人口は、2005年2016631人が、2015年に1974255人と2%減少し、2025年の人口が1867192人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

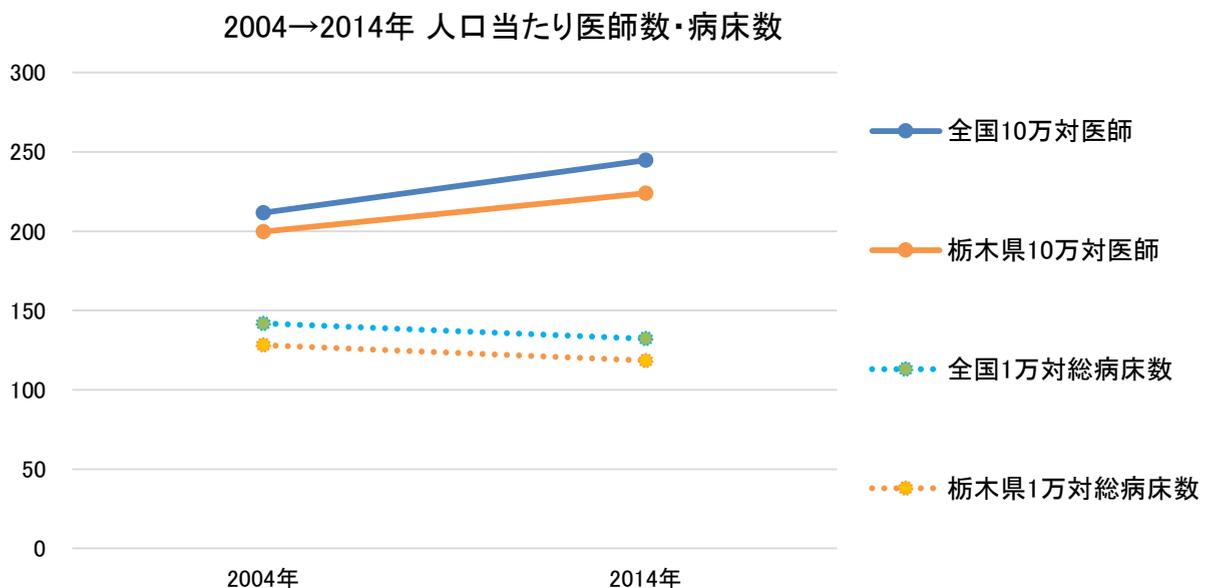
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が118(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に109(人口10万人当たり5.5病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が1358(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に1424(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、66診療所が増加した。

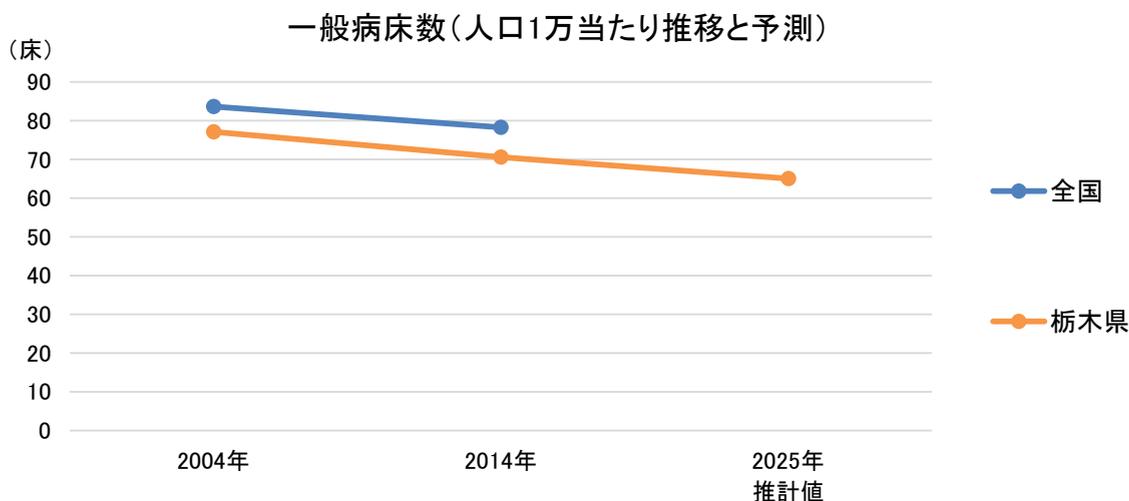
2004年の総病床数が25855床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に23384床(人口1万人当たり118(全国平均132)偏差値48)と、2471床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が4030人(人口10万人当たり200人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に4421人(人口10万人当たり224人(全国平均245人)偏差値48)と、391人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



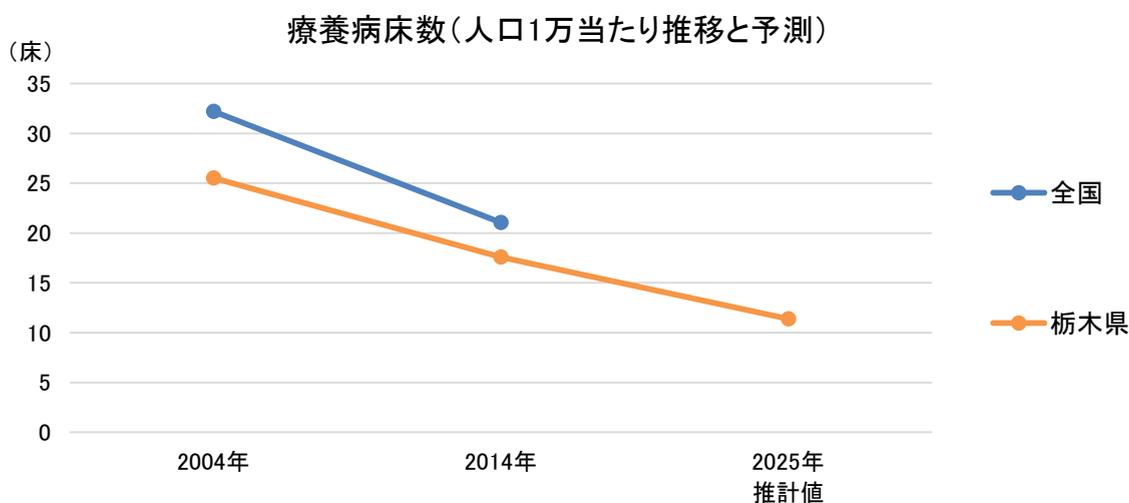
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が15549床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に13931床(人口1万人当たり71(全国平均78)偏差値47)と、1618床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には12152床(2025年の推計人口1万人当たり65)になることが予想される。



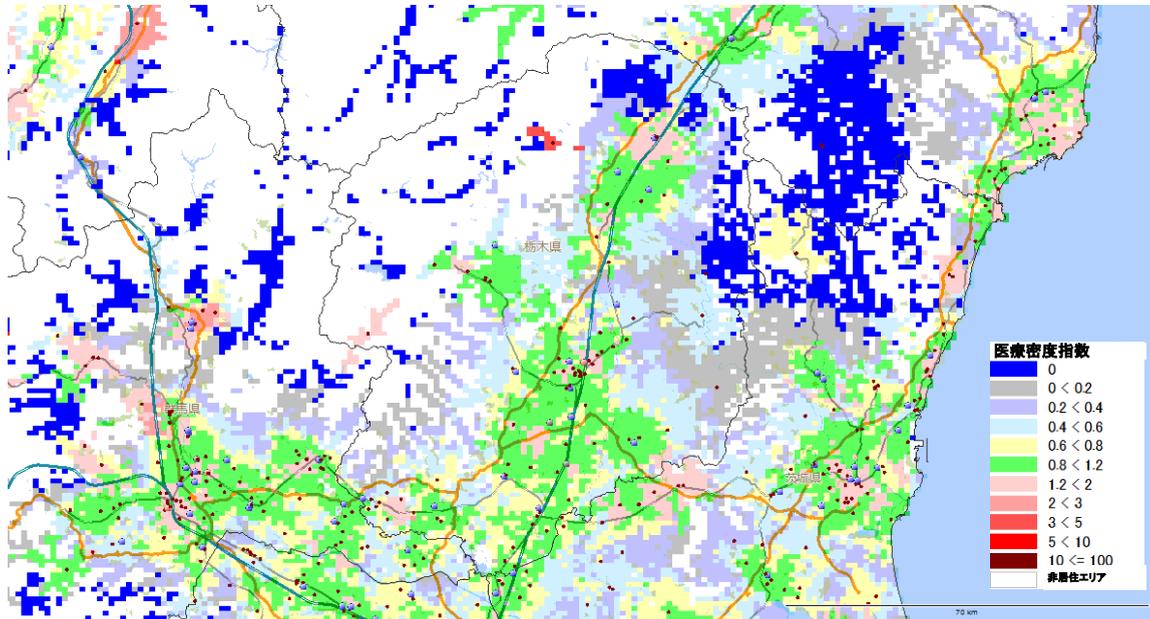
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4690床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に4202床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値47)と、488床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3667床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。



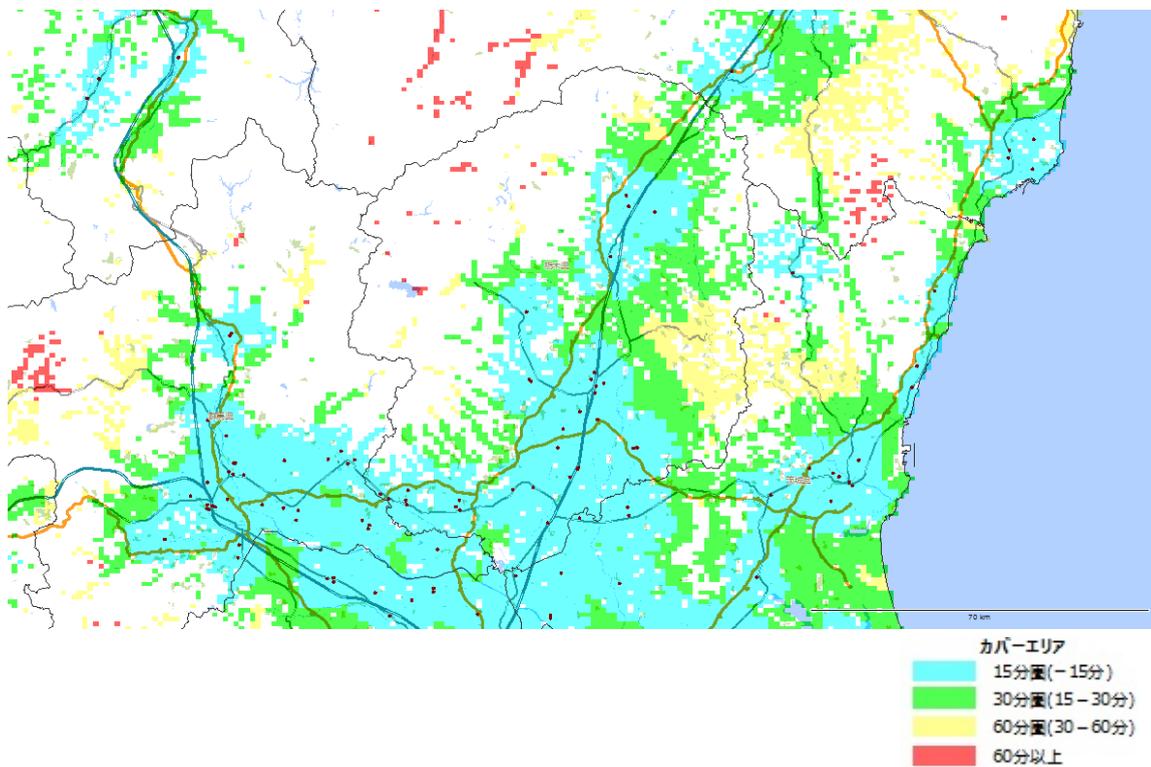
(栃木県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表9-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 9-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
栃木県	1,974	18位	6,408	20位	308.1		26%	1,867	1,643	239	322	347	-5%	-12%	35%	8%
県北	381	19%	2,230	35%	170.8	地方都市型	26%	364	320	49	64	72	-4%	-12%	31%	13%
県西	182	9%	1,940	30%	93.7	過疎地域型	29%	169	140	27	33	34	-7%	-17%	22%	3%
県東	143	7%	564	9%	253.5	地方都市型	26%	136	118	18	23	26	-5%	-13%	28%	13%
宇都宮	519	26%	417	7%	1,244.1	地方都市型	23%	503	464	53	80	89	-3%	-8%	51%	11%
県南	482	24%	724	11%	665.7	地方都市型	25%	455	401	54	75	82	-6%	-12%	39%	9%
両毛	268	14%	534	8%	502.8	地方都市型	29%	241	199	37	47	44	-10%	-17%	27%	-6%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 9-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
栃木県	0.85	0.85	18,697	26,234	-40.3%
県北	0.75	0.79	3,709	5,189	-39.9%
県西	0.81	1.06	2,158	2,689	-24.6%
県東	0.88	0.55	1,325	1,892	-42.8%
宇都宮	0.84	0.91	4,171	6,544	-56.9%
県南	0.64	0.75	4,408	6,130	-39.1%
両毛	0.99	1.10	2,926	3,791	-29.6%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 9-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
栃木県	313	43	0.919	112	44	0.866	180	45	0.963	226	42
県北	310	42	0.916	119	46	0.922	171	41	0.923	235	45
県西	321	45	0.924	120	46	0.904	181	46	0.950	225	42
県東	302	41	0.900	110	43	0.860	172	41	0.936	230	44
宇都宮	316	44	0.937	109	43	0.850	185	48	1.001	204	36
県南	317	44	0.927	109	43	0.836	187	49	0.998	232	44
両毛	308	42	0.890	110	43	0.836	176	44	0.930	238	46
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表09-35を参照。

資_図表 9-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
栃木県	108	1.3%	5.5	47	1,439	1.4%	73	47
県北	21	19%	5.5	47	230	16%	60	40
県西	11	10%	6.1	48	116	8%	64	42
県東	5	5%	3.5	42	104	7%	73	46
宇都宮	31	29%	6.0	48	421	29%	81	51
県南	23	21%	4.8	45	357	25%	74	47
両毛	17	16%	6.3	49	211	15%	79	50
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 9-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床 診療所数				有床 診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
栃木県	1,439	1.4%	73	47	1,318	1.4%	67	47	121	1.5%	6.1	50
県北	230	16%	60	40	211	16%	55	40	19	16%	5.0	48
県西	116	8%	64	42	101	8%	56	40	15	12%	8.3	53
県東	104	7%	73	46	94	7%	66	46	10	8%	7.0	51
宇都宮	421	29%	81	51	382	29%	74	50	39	32%	7.5	52
県南	357	25%	74	47	334	25%	69	48	23	19%	4.8	48
両毛	211	15%	79	50	196	15%	73	50	15	12%	5.6	49
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 9-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
栃木県	21,498	1.4%	1,089	47	1,773	1.6%	90	51	23,271	1.4%	1,179	48
県北	3,854	18%	1,012	46	297	17%	78	49	4,151	18%	1,090	46
県西	1,790	8%	985	45	238	13%	131	55	2,028	9%	1,116	46
県東	1,020	5%	714	40	162	9%	113	53	1,182	5%	827	41
宇都宮	6,492	30%	1,252	50	521	29%	100	52	7,013	30%	1,352	51
県南	5,287	25%	1,098	47	364	21%	76	49	5,651	24%	1,173	47
両毛	3,055	14%	1,138	48	191	11%	71	49	3,246	14%	1,210	48
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 9-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
栃木県	12,138	1.4%	615	46	4,112	1.3%	208	48	5,155	1.5%	261	50
県北	1,958	16%	514	42	796	19%	209	48	1,094	21%	287	51
県西	868	7%	478	40	462	11%	254	50	456	9%	251	49
県東	598	5%	418	37	181	4%	127	44	240	5%	168	46
宇都宮	3,009	25%	580	45	1,442	35%	278	51	1,979	38%	382	55
県南	3,933	32%	816	55	641	16%	133	44	712	14%	148	45
両毛	1,772	15%	660	48	590	14%	220	48	674	13%	251	49
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 9-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期				地域包括			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
栃木県	674	0.9%	34	45	654	1.1%	33	46
県北	193	29%	51	49	125	19%	33	45
県西	28	4%	15	41	58	9%	32	45
県東	0	0%	0	38	16	2%	11	42
宇都宮	239	35%	46	48	68	10%	13	42
県南	114	17%	24	43	327	50%	68	52
両毛	100	15%	37	46	60	9%	22	44
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 9-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
栃木県	5,886	5,010	344	15,789	7,291	3,756	40.7%	45	8.4%	50
県北	665	609	50	3,189	1,359	736	30.9%	41	6.4%	49
県西	542	443	45	1,338	515	417	46.2%	48	9.7%	50
県東	401	400	0	619	198	181	66.9%	56	0.0%	46
宇都宮	2,550	2,040	149	4,027	1,028	1,293	66.5%	56	10.3%	51
県南	402	402	0	4,887	3,533	641	10.2%	33	0.0%	46
両毛	1,326	1,116	100	1,729	658	488	62.9%	54	17.0%	53
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 9-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
栃木県	39,804	1.4%	2,016	48	17,004	1.7%	861	52
県北	4,896	12%	1,285	41	3,468	20%	910	54
県西	2,016	5%	1,109	39	1,260	7%	693	46
県東	1,068	3%	747	36	492	3%	344	34
宇都宮	10,020	25%	1,932	47	5,052	30%	974	56
県南	16,272	41%	3,378	61	4,356	26%	904	54
両毛	5,532	14%	2,061	48	2,376	14%	885	53
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 9-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
栃木県	4,973	1.4%	252	48	3,201	1.5%	162	49	1,772	1.4%	90	46
県北	711	14%	187	40	428	13%	112	41	283	16%	74	41
県西	320	6%	176	39	184	6%	101	40	136	8%	75	41
県東	221	4%	155	37	89	3%	62	34	132	7%	92	47
宇都宮	1,134	23%	219	44	621	19%	120	42	513	29%	99	49
県南	1,978	40%	411	66	1,518	47%	315	72	460	26%	96	48
両毛	610	12%	227	45	361	11%	135	45	249	14%	93	47
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 9-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
栃木県	221	1.4%	11.2	48	173	1.4%	8.8	48	170	1.6%	8.6	51
県北	20	9%	5.3	39	21	12%	5.5	40	25	15%	6.6	46
県西	10	5%	5.5	39	10	6%	5.5	40	8	5%	4.4	40
県東	6	3%	4.2	37	10	6%	7.0	44	7	4%	4.9	41
宇都宮	48	22%	9.3	45	34	20%	6.6	43	33	19%	6.4	45
県南	113	51%	23.5	67	78	45%	16.2	64	74	44%	15.4	69
両毛	24	11%	8.9	45	20	12%	7.5	45	23	14%	8.6	51
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 9-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
栃木県	75	1.4%	3.8	48	125	1.3%	6.3	47	97	1.3%	4.9	46
県北	8	11%	2.1	40	15	12%	3.9	39	10	10%	2.6	37
県西	6	8%	3.3	46	12	10%	6.6	47	5	5%	2.8	38
県東	4	5%	2.8	43	4	3%	2.8	35	4	4%	2.8	38
宇都宮	19	25%	3.7	48	31	25%	6.0	45	26	27%	5.0	47
県南	28	37%	5.8	58	43	34%	8.9	55	40	41%	8.3	60
両毛	10	13%	3.7	48	20	16%	7.5	50	12	12%	4.5	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 9-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
栃木県	89	1.1%	4.5	44	329	1.6%	16.7	51	202	1.3%	10.2	46
県北	17	19%	4.5	44	47	14%	12.3	45	21	10%	5.5	35
県西	1	1%	0.6	33	16	5%	8.8	39	11	5%	6.1	36
県東	1	1%	0.7	33	13	4%	9.1	40	5	2%	3.5	31
宇都宮	24	27%	4.6	45	78	24%	15.0	49	66	33%	12.7	51
県南	31	35%	6.4	50	135	41%	28.0	67	78	39%	16.2	59
両毛	15	17%	5.6	47	40	12%	14.9	48	21	10%	7.8	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 9-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
栃木県	79	1.4%	4.0	48	86	1.3%	4.4	47	60	1.1%	3.0	46
県北	9	11%	2.4	40	12	14%	3.2	42	4	7%	1.1	39
県西	4	5%	2.2	39	3	3%	1.7	36	2	3%	1.1	39
県東	6	8%	4.2	49	2	2%	1.4	34	2	3%	1.4	40
宇都宮	15	19%	2.9	42	20	23%	3.9	45	12	20%	2.3	44
県南	35	44%	7.3	64	46	53%	9.5	69	35	58%	7.3	61
両毛	10	13%	3.7	46	3	3%	1.1	33	5	8%	1.9	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 9-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
栃木県	106	1.6%	5.4	51	19	1.2%	1.0	47	46	1.4%	2.3	48
県北	15	14%	3.9	46	3	16%	0.8	45	8	17%	2.1	47
県西	7	7%	3.9	46	1	5%	0.6	43	2	4%	1.1	41
県東	3	3%	2.1	40	0	0%	0	37	1	2%	0.7	39
宇都宮	22	21%	4.2	47	7	37%	1.3	52	9	20%	1.7	45
県南	46	43%	9.5	65	7	37%	1.5	53	25	54%	5.2	65
両毛	13	12%	4.8	49	1	5%	0.4	41	1	2%	0.4	37
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 9-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
栃木県	22	1.1%	1.1	46	31	1.3%	1.6	48
県北	2	9%	0.5	41	5	16%	1.3	46
県西	3	14%	1.7	51	0	0%	0	36
県東	0	0%	0	37	0	0%	0	36
宇都宮	6	27%	1.2	47	10	32%	1.9	50
県南	9	41%	1.9	53	12	39%	2.5	55
両毛	2	9%	0.7	43	4	13%	1.5	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 9-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
栃木県	15,750	1.4%	798	47	12,480	1.4%	632	46	3,270	1.7%	166	51
県北	2,613	17%	686	43	2,124	17%	558	43	489	15%	128	46
県西	1,289	8%	709	44	928	7%	511	41	360	11%	198	56
県東	793	5%	555	39	512	4%	359	35	281	9%	197	56
宇都宮	4,289	27%	827	48	3,430	27%	661	47	859	26%	166	51
県南	4,466	28%	927	52	3,741	30%	777	52	725	22%	151	49
両毛	2,299	15%	857	49	1,745	14%	650	47	555	17%	207	57
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 9-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
栃木県	1,440	1.1%	73	45	3,826	1.3%	194	46
県北	343	24%	90	48	547	14%	144	41
県西	112	8%	62	43	289	8%	159	43
県東	40	3%	28	37	212	6%	148	41
宇都宮	388	27%	75	45	1,154	30%	223	50
県南	401	28%	83	47	1,120	29%	233	51
両毛	156	11%	58	42	504	13%	188	46
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 9-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
栃木県	143	1.1%	0.6	45	3	0.2%	0.0	40	98	0.9%	0.4	38
県北	36	25%	0.7	48	0	0%	0	38	18	18%	0.4	36
県西	2	1%	0.1	33	0	0%	0	38	8	8%	0.3	33
県東	9	6%	0.5	42	0	0%	0	38	5	5%	0.3	32
宇都宮	31	22%	0.6	44	1	33%	0.0	41	26	27%	0.5	42
県南	46	32%	0.8	51	2	67%	0.0	44	25	26%	0.5	41
両毛	19	13%	0.5	43	0	0%	0	38	16	16%	0.4	40
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 9-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
栃木県	22,755	1.4%	95	45	14,530	1.5%	61	49	8,225	1.2%	34	45
県北	4,575	20%	93	44	2,914	20%	59	48	1,661	20%	34	45
県西	2,447	11%	91	43	1,796	12%	67	55	651	8%	24	39
県東	1,509	7%	82	37	1,163	8%	63	52	346	4%	19	35
宇都宮	5,444	24%	102	49	3,149	22%	59	48	2,295	28%	43	50
県南	5,255	23%	96	46	3,436	24%	63	51	1,819	22%	33	44
両毛	3,525	15%	95	45	2,072	14%	56	46	1,453	18%	39	48
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 9-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
栃木県	5,667	1.6%	24	52	8,355	1.5%	35	50	508	0.8%	2.1	45
県北	1,145	20%	23	51	1,629	19%	33	48	140	28%	2.8	47
県西	774	14%	29	61	972	12%	36	51	50	10%	1.9	45
県東	520	9%	28	60	643	8%	35	50	0	0%	0	40
宇都宮	1,038	18%	19	45	1,793	21%	34	49	318	63%	6.0	55
県南	1,394	25%	26	55	2,042	24%	37	53	0	0%	0	40
両毛	796	14%	22	48	1,276	15%	35	50	0	0%	0	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 9-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
栃木県	1,078	0.5%	4.5	41	683	3.0%	2.9	57	2,181	1.1%	9.1	45
県北	196	18%	4.0	40	71	10%	1.4	50	528	24%	10.7	48
県西	100	9%	3.7	40	40	6%	1.5	50	213	10%	8.0	43
県東	0	0%	0	37	0	0%	0	43	162	7%	8.8	44
宇都宮	255	24%	4.8	41	380	56%	7.1	77	387	18%	7.3	42
県南	255	24%	4.7	41	100	15%	1.8	52	540	25%	9.9	46
両毛	272	25%	7.4	44	92	13%	2.5	55	351	16%	9.5	45
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 9-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
栃木県	4,283	1.8%	17.9	55	225	1.5%	0.9	50	4,058	1.9%	17.0	55
県北	866	20%	17.6	54	0	0%	0	44	866	21%	17.6	56
県西	298	7%	11.1	45	9	4%	0.3	46	289	7%	10.8	46
県東	184	4%	10.0	44	0	0%	0	44	184	5%	10.0	45
宇都宮	1,273	30%	23.9	63	0	0%	0	44	1,273	31%	23.9	65
県南	924	22%	17.0	54	77	34%	1.4	53	847	21%	15.5	53
両毛	738	17%	20.0	58	139	62%	3.8	67	599	15%	16.2	54
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 9-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
栃木県	2,156	1.3%	9.0	45	1,684	1.4%	7.0	48	472	1.0%	2.0	41
県北	456	21%	9.3	46	378	22%	7.7	51	78	17%	1.6	37
県西	200	9%	7.5	38	176	10%	6.6	46	24	5%	0.9	29
県東	114	5%	6.2	33	92	5%	5.0	39	21	5%	1.2	32
宇都宮	584	27%	11.0	53	451	27%	8.5	55	132	28%	2.5	46
県南	493	23%	9.0	45	360	21%	6.6	46	133	28%	2.4	46
両毛	310	14%	8.4	42	226	13%	6.1	44	84	18%	2.3	44
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 9-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
栃木県	20,611	1.4%	86	47	18,407	1.5%	77	50	2,204	1.0%	9.2	42
県北	4,203	20%	85	46	3,876	21%	79	52	327	15%	6.6	37
県西	2,173	11%	81	43	1,990	11%	74	48	183	8%	6.8	37
県東	1,413	7%	77	39	1,330	7%	73	47	83	4%	4.5	33
宇都宮	4,366	21%	82	43	3,643	20%	68	43	723	33%	13.6	49
県南	4,997	24%	92	51	4,496	24%	83	55	502	23%	9.2	42
両毛	3,459	17%	94	53	3,072	17%	83	56	386	18%	10.5	44
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 9-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
栃木県	8,070	0.8%	34	40	4,082	0.9%	17	41	14,645	1.0%	61	40
県北	1,111	14%	23	36	629	15%	13	37	2,110	14%	43	35
県西	189	2%	7	31	191	5%	7	33	1,365	9%	51	37
県東	307	4%	17	34	187	5%	10	35	621	4%	34	32
宇都宮	1,702	21%	32	39	1,113	27%	21	44	4,406	30%	83	47
県南	2,828	35%	52	45	1,259	31%	23	46	3,370	23%	62	41
両毛	1,933	24%	52	46	703	17%	19	43	2,773	19%	75	45

出典 平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 9-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
栃木県		2,016,631	1,974,255	-2%	1,867,192	-7%	10%	6%	16%
県北	地方都市型	393,210	380,922	-3%	364,184	-7%	8%	7%	15%
県西	過疎地域型	198,439	181,760	-8%	168,575	-15%	3%	2%	5%
県東	地方都市型	153,253	142,917	-7%	136,092	-11%	3%	6%	9%
宇都宮	地方都市型	502,396	518,594	3%	503,047	0%	16%	9%	27%
県南	地方都市型	485,651	481,691	-1%	454,501	-6%	11%	6%	18%
両毛	地方都市型	283,682	268,371	-5%	240,793	-15%	7%	-1%	6%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など)
<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

資_図表 9-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
栃木県	118	5.9	47	109	5.5	47	-9	-8%	100
県北	22	5.6	46	21	5.5	47	-1	-5%	20
県西	12	6.0	47	11	6.1	48	-1	-8%	10
県東	5	3.3	40	5	3.5	42	0	0%	5
宇都宮	34	6.8	49	31	6.0	48	-3	-9%	28
県南	27	5.6	46	24	5.0	46	-3	-11%	21
両毛	18	6.3	48	17	6.3	49	-1	-6%	16

出典 <病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月
<病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

資_図表 9-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
栃木県	1,358	67	46	1,424	72	46	66	5%	1,497
県北	222	56	40	224	59	39	2	1%	226
県西	107	54	39	116	64	42	9	8%	126
県東	93	61	42	102	71	46	9	10%	112
宇都宮	414	82	53	419	81	51	5	1%	425
県南	324	67	45	353	73	47	29	9%	385
両毛	198	70	47	210	78	50	12	6%	223
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 9-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
栃木県	4,030	200	49	4,421	224	48	391	10%	4,851
県北	505	128	40	576	151	40	71	14%	654
県西	246	124	40	266	146	39	20	8%	288
県東	169	110	38	177	124	37	8	5%	186
宇都宮	940	187	47	986	190	44	46	5%	1,037
県南	1,735	357	67	1,908	396	66	173	10%	2,098
両毛	435	153	43	508	189	44	73	17%	588
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 9-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
栃木県	25,855	128	48	23,384	118	48	-2,471	-10%	20,667
県北	4,614	117	46	4,131	108	46	-483	-10%	3,600
県西	2,510	126	47	2,118	117	47	-392	-16%	1,687
県東	1,264	82	39	1,182	83	41	-82	-6%	1,092
宇都宮	7,718	154	52	7,033	136	51	-685	-9%	6,280
県南	6,163	127	47	5,674	118	47	-489	-8%	5,136
両毛	3,586	126	47	3,246	121	48	-340	-9%	2,872
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 9-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
栃木県	15,549	77	48	13,931	71	47	-1,618	-10%	12,152	65
県北	2,548	65	43	2,219	58	43	-329	-13%	1,857	51
県西	1,264	64	43	1,192	66	45	-72	-6%	1,113	66
県東	812	53	39	744	52	40	-68	-8%	669	49
宇都宮	4,009	80	49	3,525	68	46	-484	-12%	2,993	59
県南	4,673	96	54	4,288	89	54	-385	-8%	3,865	85
両毛	2,243	79	48	1,963	73	48	-280	-12%	1,655	69
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 9-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
栃木県	4,690	26	46	4,202	18	47	-488	-10%	3,667	11
県北	946	24	46	812	16	46	-134	-14%	665	10
県西	686	31	49	466	17	47	-220	-32%	224	7
県東	197	12	39	197	11	41	0	0%	197	8
宇都宮	1,548	42	55	1,464	27	55	-84	-5%	1,372	17
県南	698	17	41	673	12	43	-25	-4%	646	9
両毛	615	21	44	590	16	46	-25	-4%	563	12
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

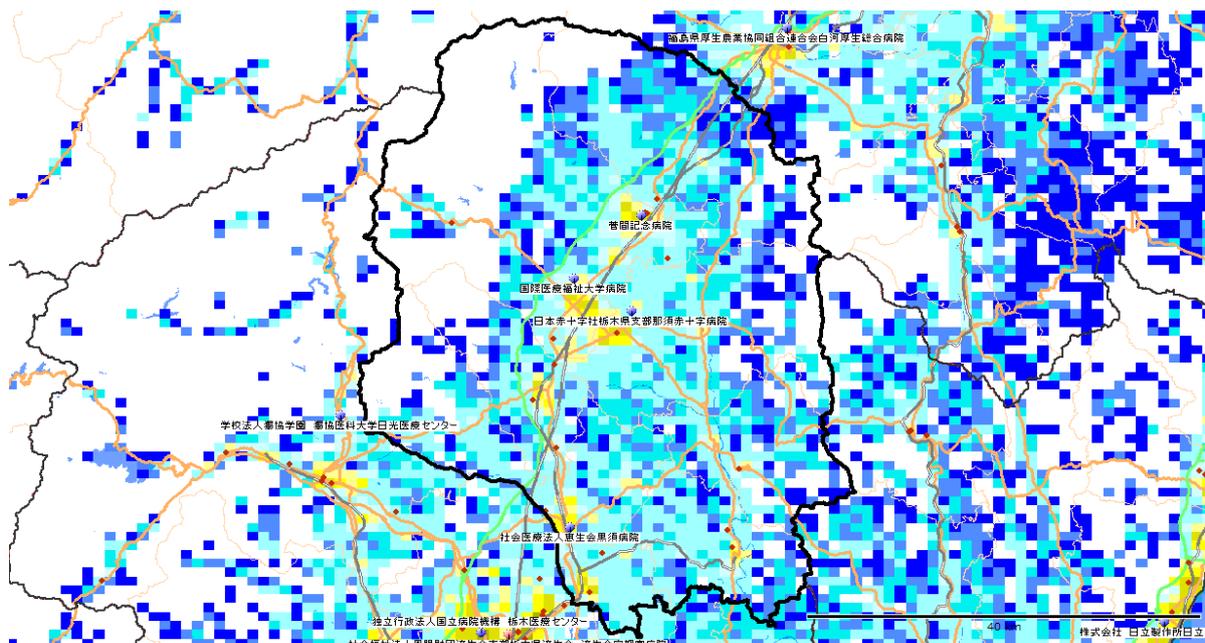
資_図表 9-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
										全国
栃木県	825	41	0.873	381	42	0.820	419	45	0.937	
県北	814	40	0.858	404	44	0.857	389	37	0.874	
県西	883	46	0.929	443	48	0.940	416	44	0.932	
県東	777	37	0.818	360	40	0.761	395	39	0.890	
宇都宮	865	44	0.929	402	44	0.880	434	48	0.981	
県南	794	39	0.843	336	38	0.724	434	48	0.973	
両毛	811	40	0.852	355	39	0.759	430	47	0.956	
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省									

9-1. けんほく 県北医療圏

構成市区町村⁹ [大田原市](#) [矢板市](#) [那須塩原市](#) [さくら市](#)
[那須烏山市](#) [塩谷町](#) [高根沢町](#) [那須町](#)
[那珂川町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(県北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県北(大田原市)は、総人口約381千人(2015年)、面積2230km²、人口密度は171人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県北の総人口は2025年に364千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に320千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の49千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には72千人へと増加する(2025年比+13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県北の一人当たり医療費(国保)は310千円(偏差値42)、介護給付費は235千円(偏差値45)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県北の一人当たり急性期医療密度指数²は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.79で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。県北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国際医療福祉大学病院(Ⅲ群)、那須赤十字病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4575人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2914床(偏差値48)、高齢者住宅等が1661床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3876人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム40、軽費ホーム50、グループホーム48、サ高住54である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、327人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-40%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県北医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

県北医療圏の総人口は、2005年393210人が、2015年に380922人と3%減少し、2025年の人口が364184人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

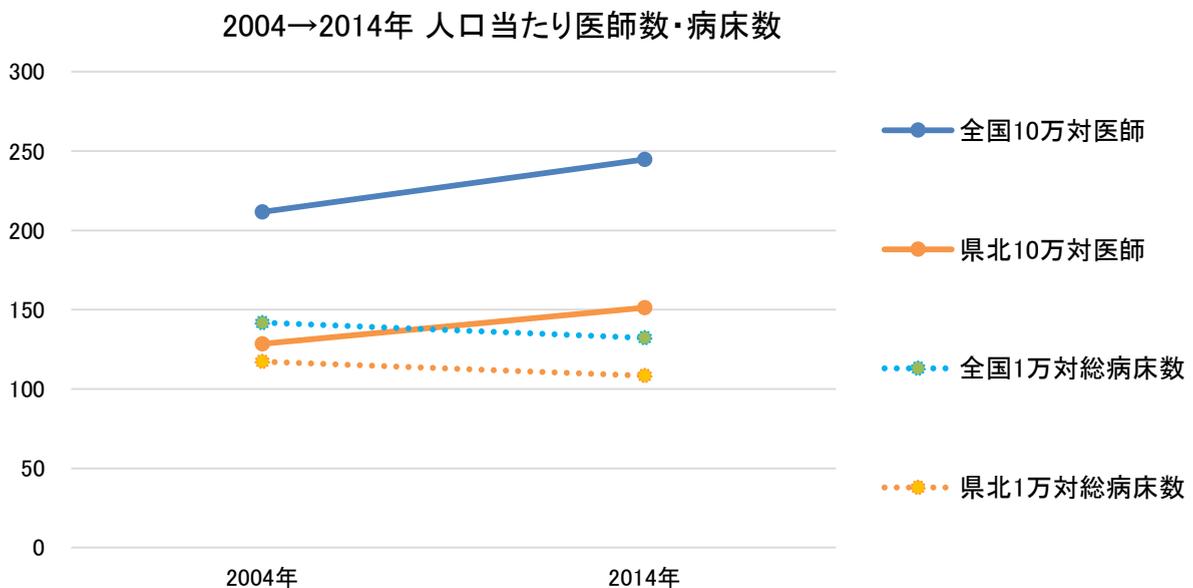
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が22(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に21(人口10万人当たり5.5病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が222(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に224(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値39)と、2診療所が増加した。

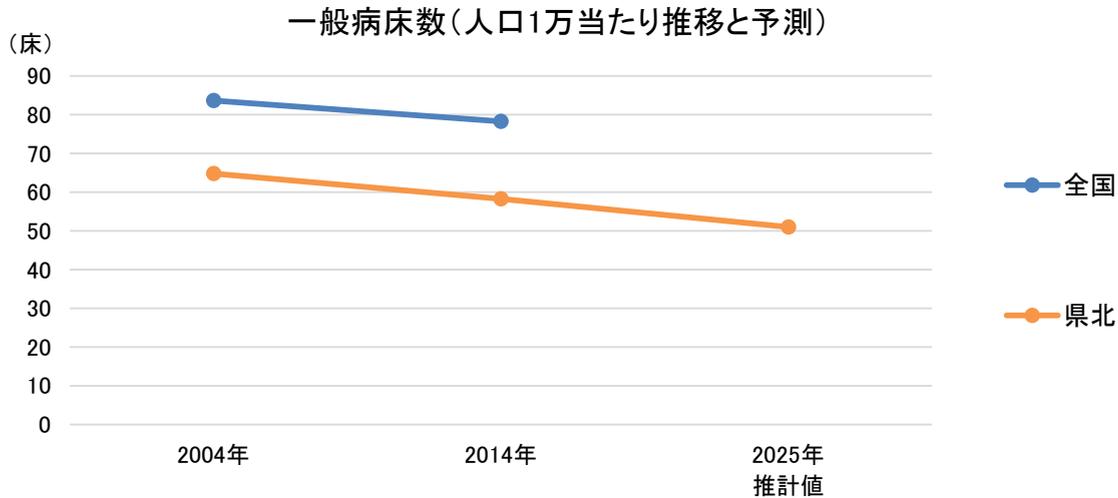
2004年の総病床数が4614床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に4131床(人口1万人当たり108(全国平均132)偏差値46)と、483床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が505人(人口10万人当たり128人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に576人(人口10万人当たり151人(全国平均245人)偏差値40)と、71人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



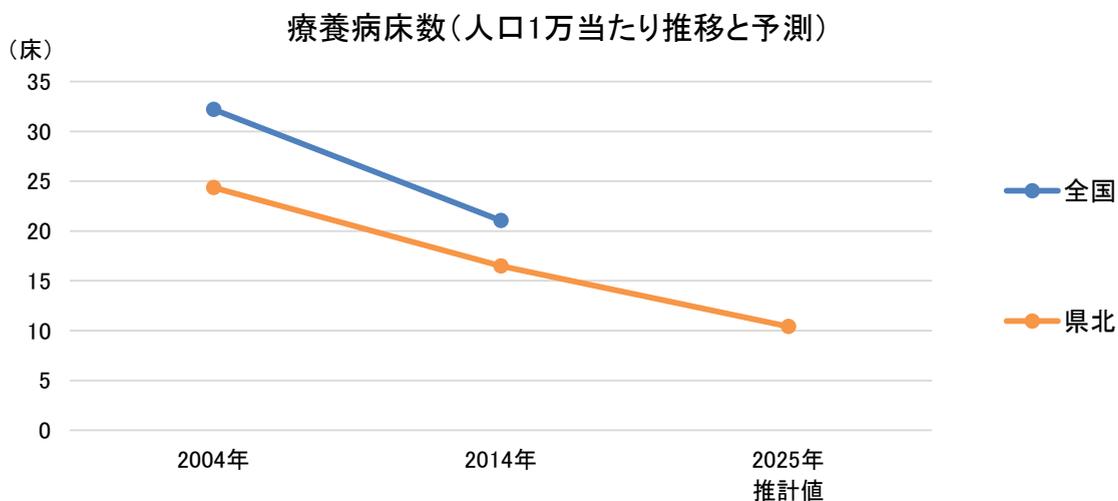
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2548床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に2219床(人口1万人当たり58(全国平均78)偏差値43)と、329床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1857床(2025年の推計人口1万人当たり51)になることが予想される。



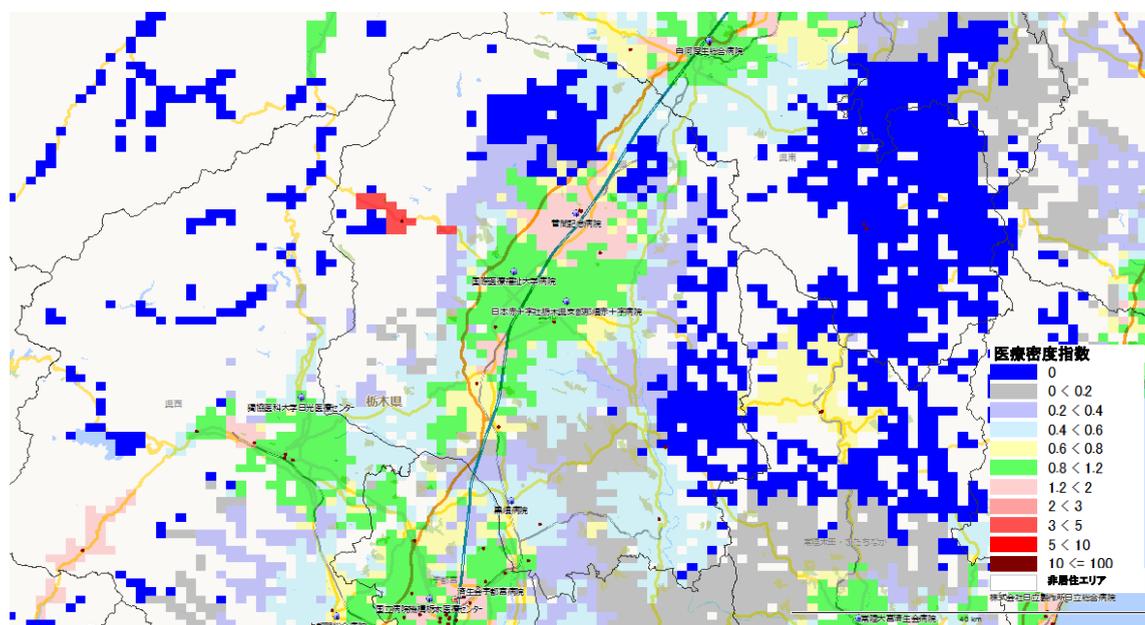
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が946床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に812床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、134床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には665床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



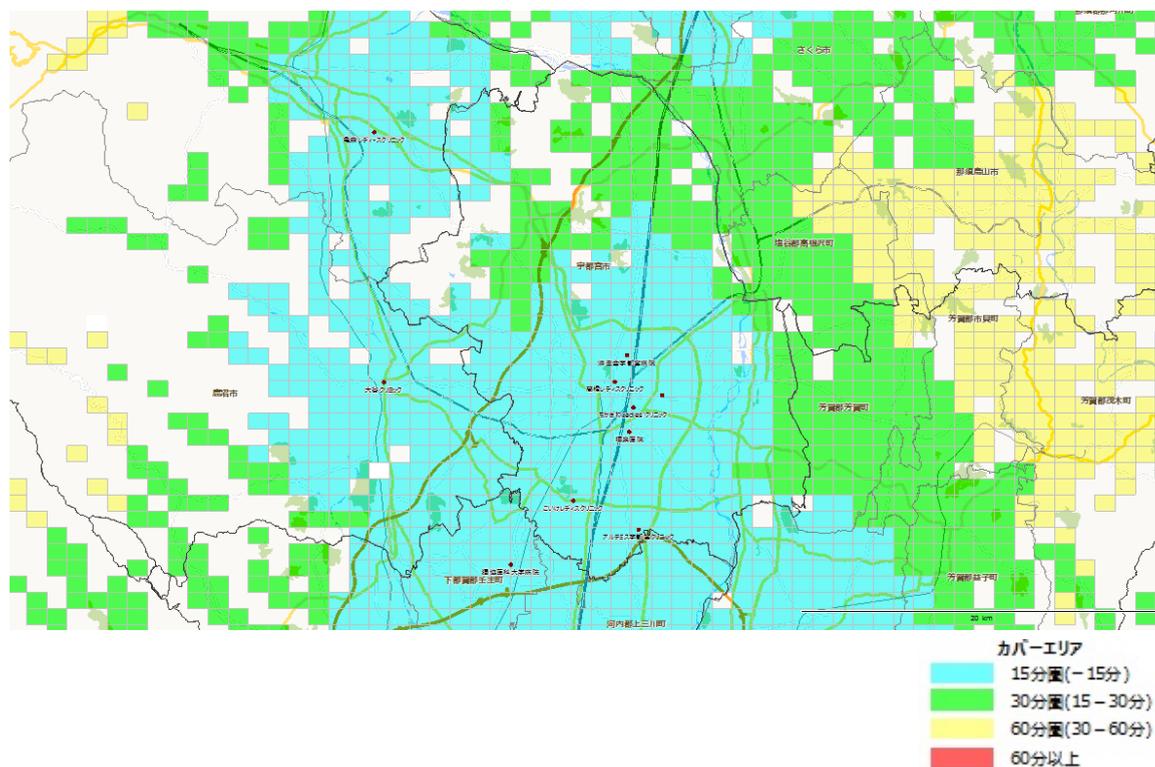
(県北医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表9-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

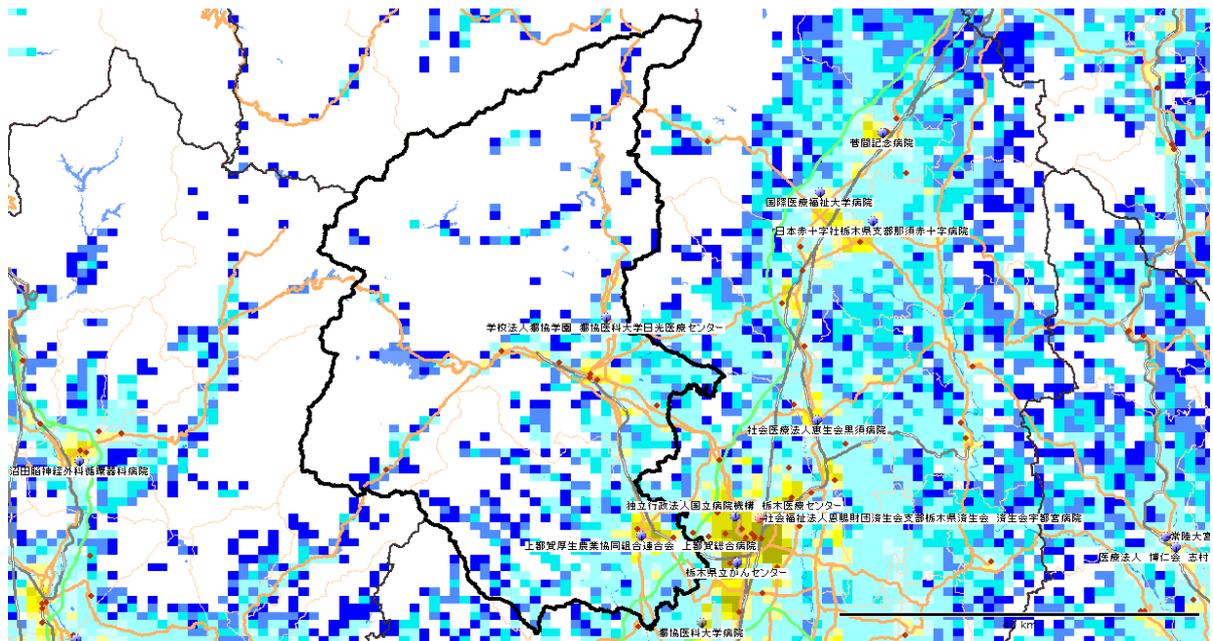


9-2. けんせい 県西医療圏

構成市区町村⁹ [鹿沼市](#)

[日光市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(県西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県西(鹿沼市)は、総人口約182千人(2015年)、面積1940km²、人口密度は94人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県西の総人口は2025年に169千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に140千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて33千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には34千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県西の一人当たり医療費(国保)は321千円(偏差値45)、介護給付費は225千円(偏差値42)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県西の一人当たり急性期医療密度指数²は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.06で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数40、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。県西には、年間全身麻酔件数が500例以上の獨協医科大学日光医療センター(Ⅲ群)、上都賀総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値41と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2447人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1796床(偏差値55)、高齢者住宅等が651床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1990人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム40、軽費ホーム50、グループホーム43、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、183人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県西医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

県西医療圏の総人口は、2005年198439人が、2015年に181760人と8%減少し、2025年の人口が168575人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

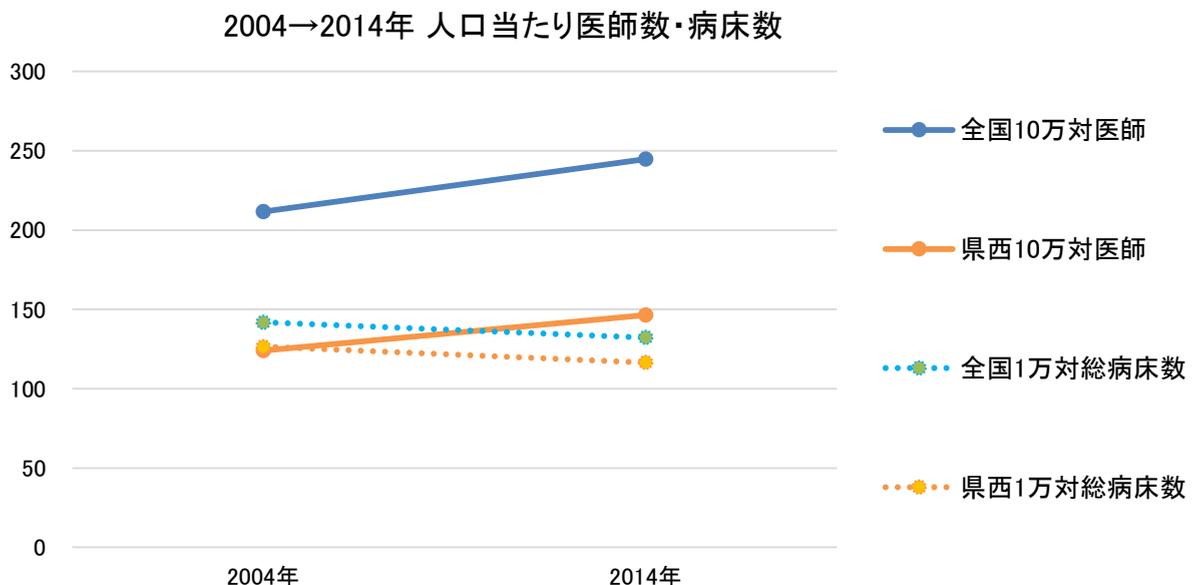
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に11(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が107(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に116(人口10万人当たり64診療所(全国平均79)偏差値42)と、9診療所が増加した。

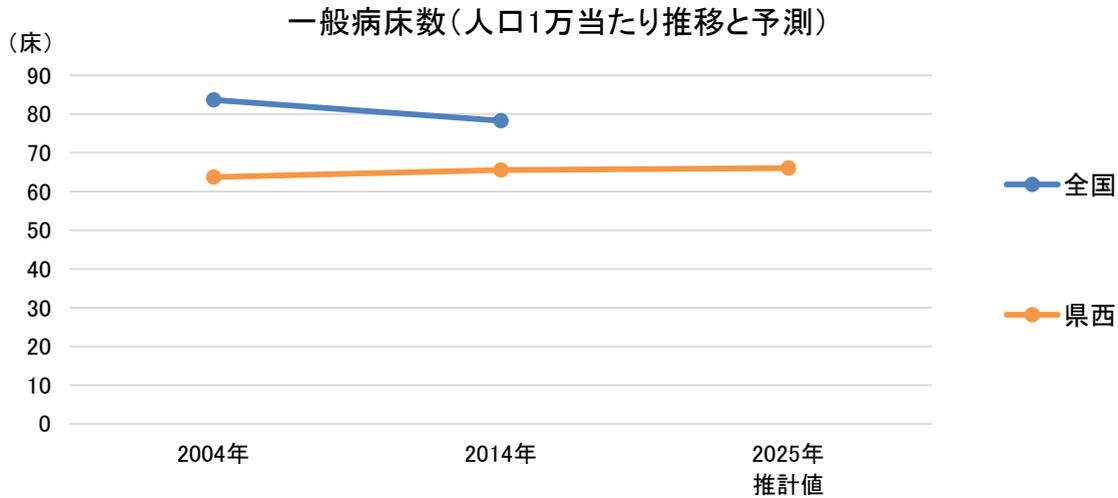
2004年の総病床数が2510床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に2118床(人口1万人当たり117(全国平均132)偏差値47)と、392床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が246人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に266人(人口10万人当たり146人(全国平均245人)偏差値39)と、20人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



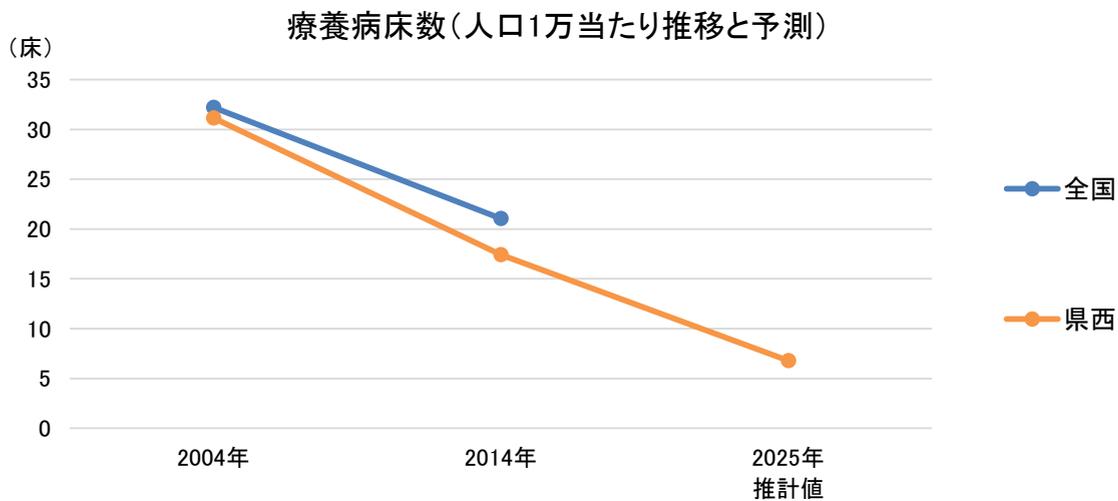
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1264床(人口1万人当たり64(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に1192床(人口1万人当たり66(全国平均78)偏差値45)と、72床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1113床(2025年の推計人口1万人当たり66)になることが予想される。



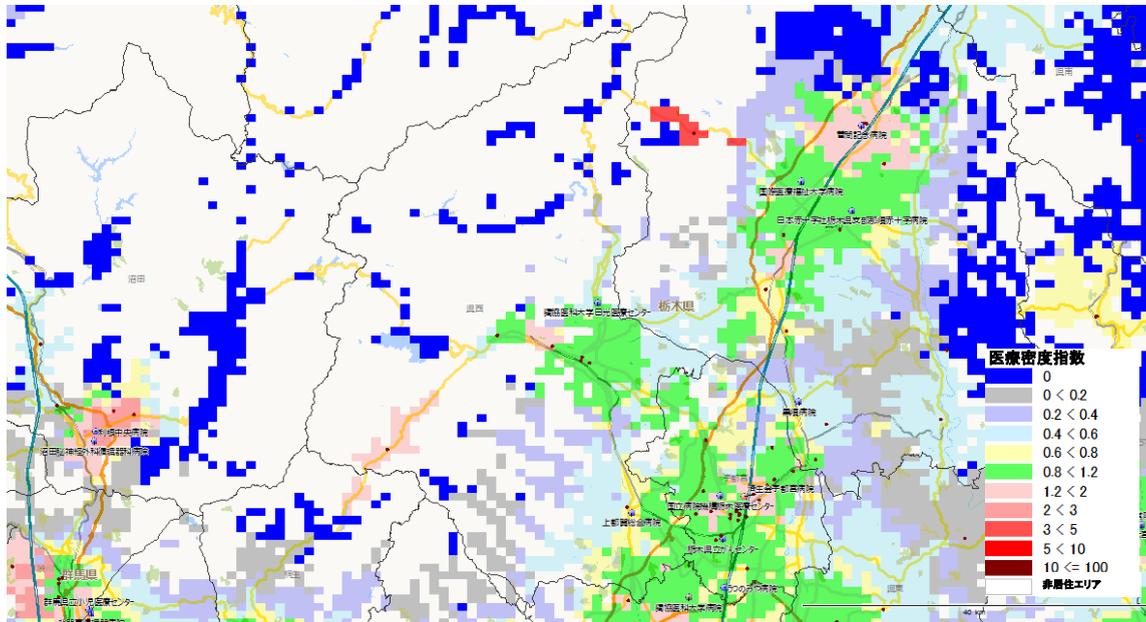
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が686床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に466床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値47)と、220床の減少、率にして32%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には224床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



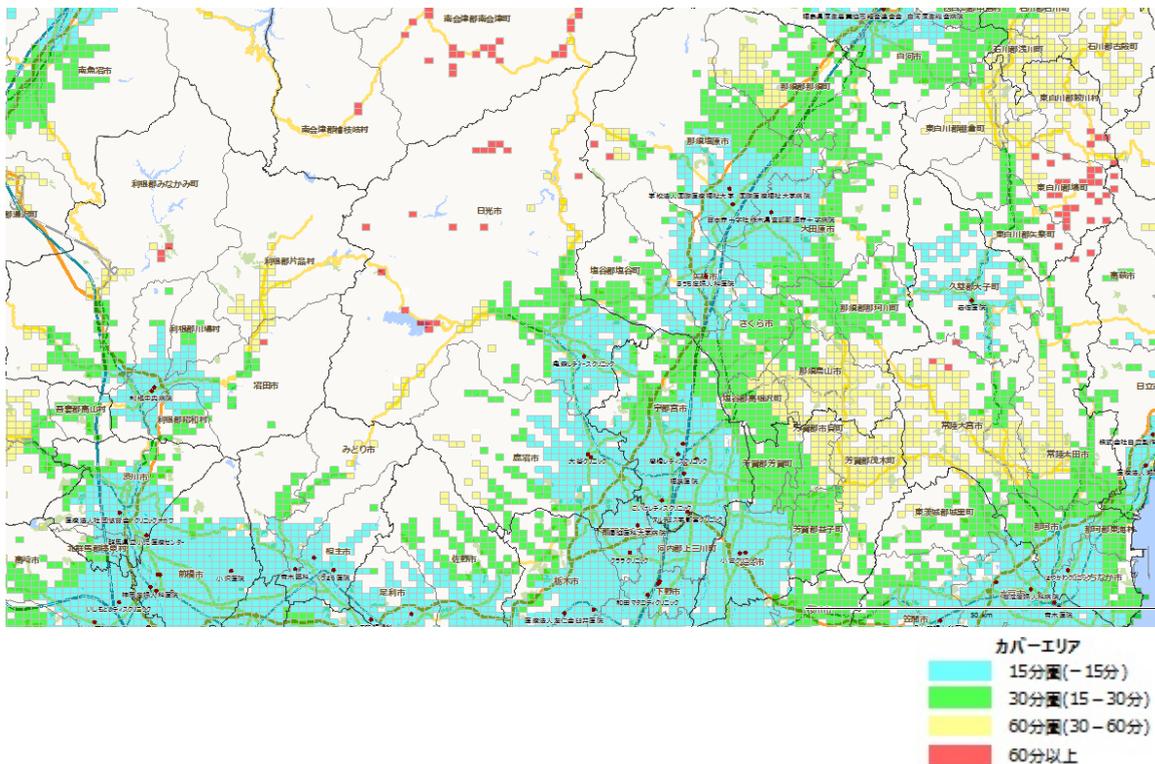
(県西医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表9-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-2-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



9-3. けんとう 県東医療圏

構成市区町村⁹

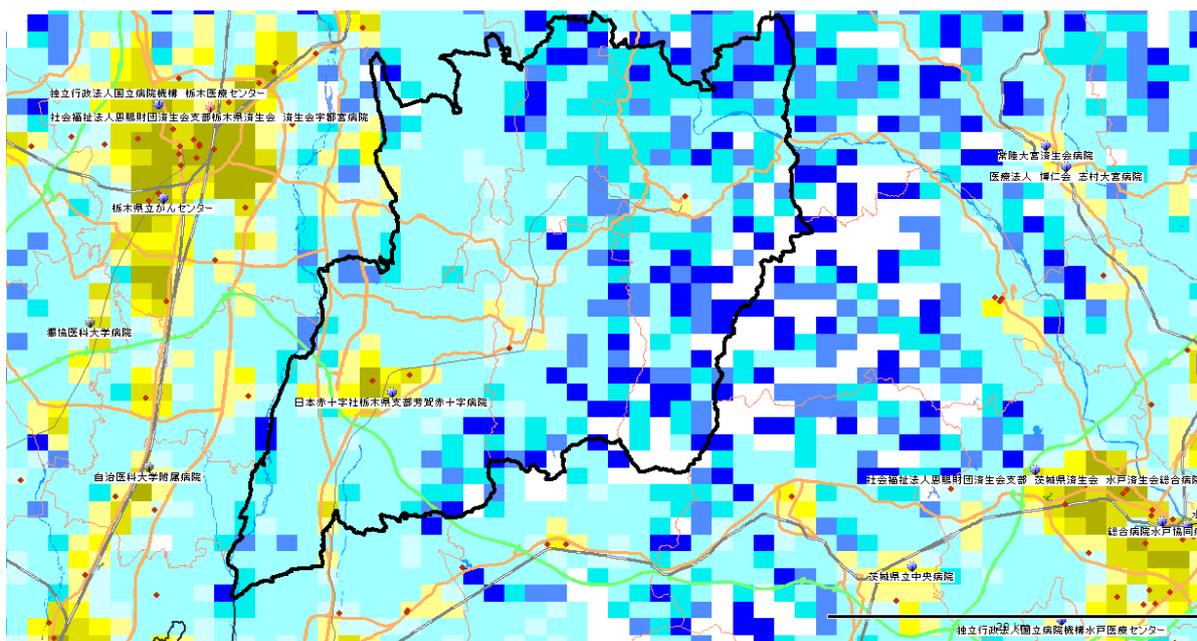
[真岡市](#)
[芳賀町](#)

[益子町](#)

[茂木町](#)

[市貝町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(県東医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県東(真岡市)は、総人口約143千人(2015年)、面積564km²、人口密度は253人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県東の総人口は2025年に136千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に118千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて23千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には26千人へと増加する(2025年比+13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県東の一人当たり医療費(国保)は302千円(偏差値41)、介護給付費は230千円(偏差値44)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県東の一人当たり急性期医療密度指数²は0.88、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.55で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が37(病院医師数34、診療所医師数47)と、総医師数は少ないが、病院医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。県東には、年間全身麻酔件数が500例以上の芳賀赤十字病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値37と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県東の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1509人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1163床(偏差値52)、高齢者住宅等が346床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1330人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、83人(75歳以上1000人当たりの偏差値33)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-43%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県東医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

県東医療圏の総人口は、2005年153253人が、2015年に142917人と7%減少し、2025年の人口が136092人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

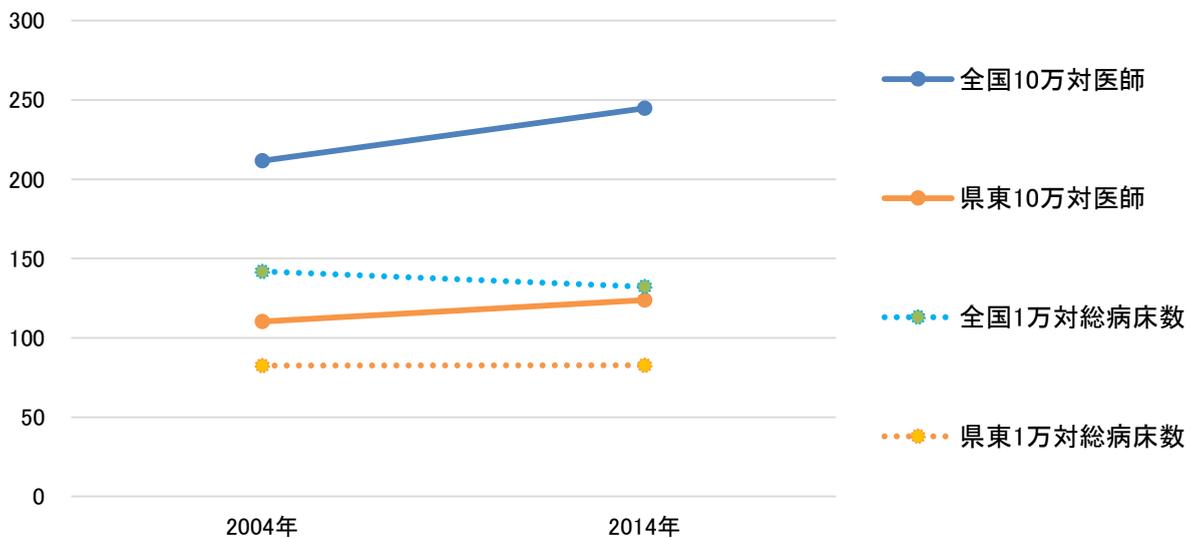
2004年の病院数が5(人口10万人当たり3.3病院(全国平均7.1)偏差値40)であったが、2014年に5(人口10万人当たり3.5病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が93(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に102(人口10万人当たり71診療所(全国平均79)偏差値46)と、9診療所が増加した。

2004年の総病床数が1264床(人口1万人当たり82(全国平均142)偏差値39)であったが、2014年に1182床(人口1万人当たり83(全国平均132)偏差値41)と、82床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

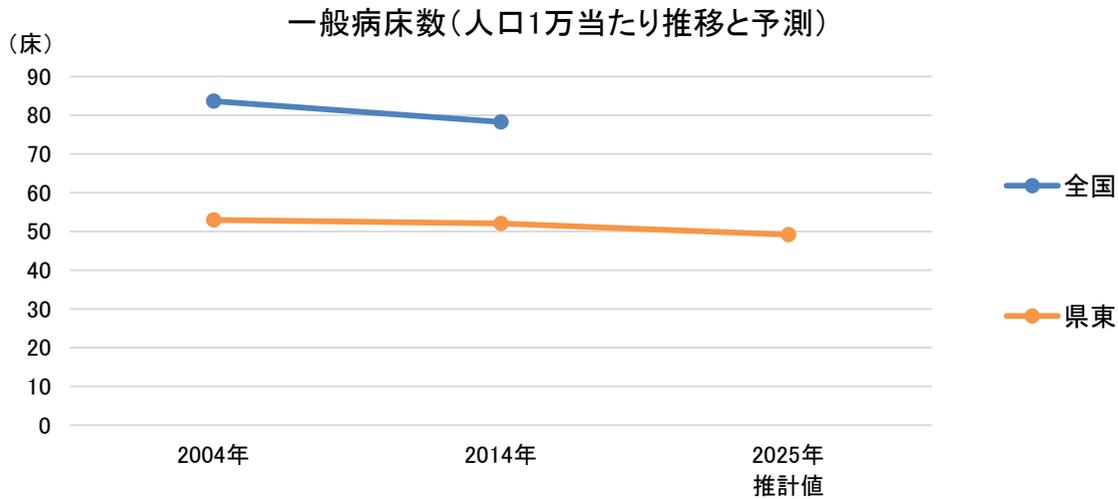
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が169人(人口10万人当たり110人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2014年に177人(人口10万人当たり124人(全国平均245人)偏差値37)と、8人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



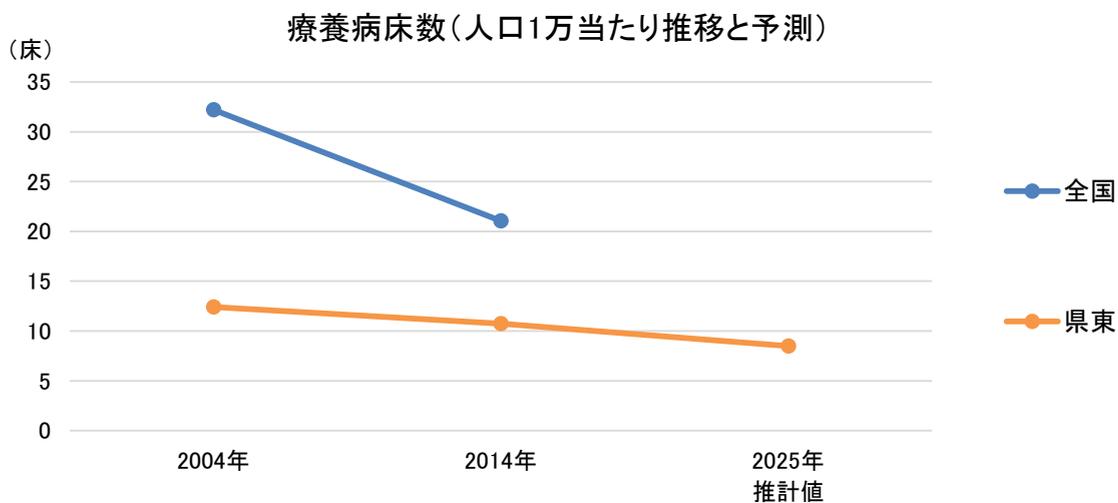
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が812床(人口1万人当たり53(全国平均84)偏差値39)であったが、2014年に744床(人口1万人当たり52(全国平均78)偏差値40)と、68床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には669床(2025年の推計人口1万人当たり49)になることが予想される。



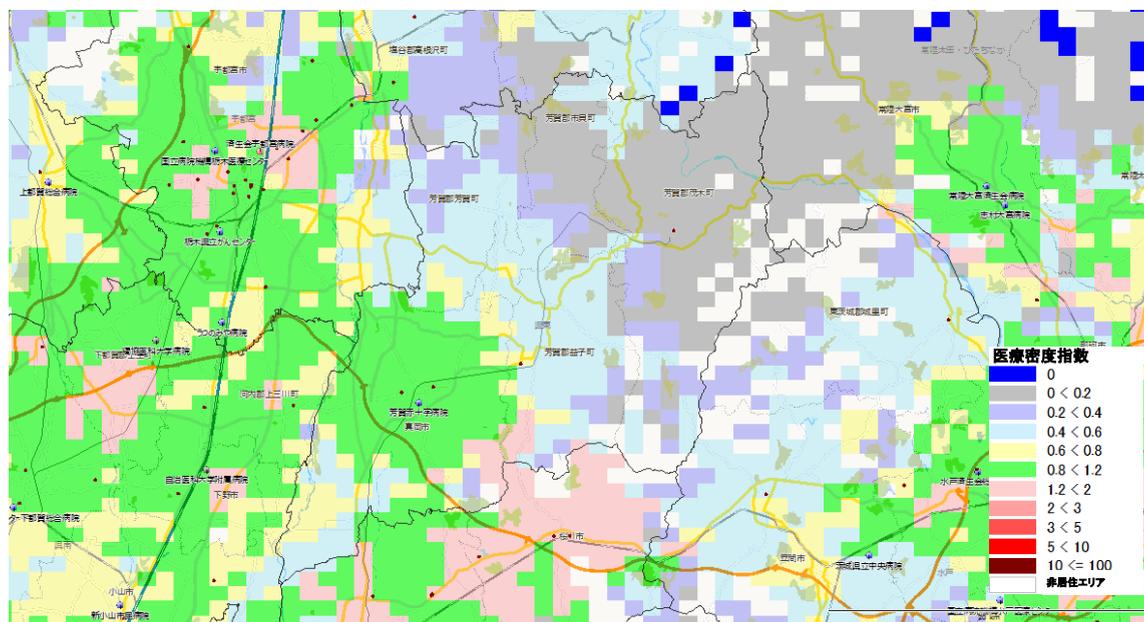
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が197床(75歳以上1000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に197床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値41)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には197床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



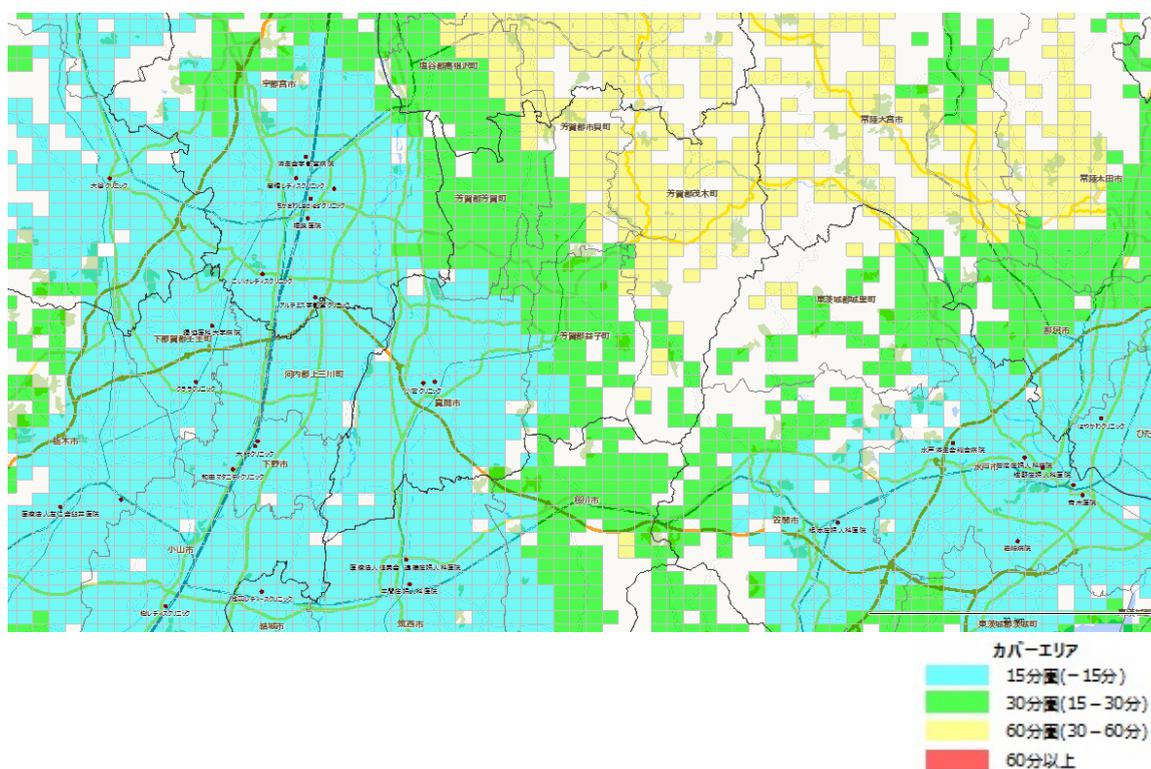
(県東医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表9-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

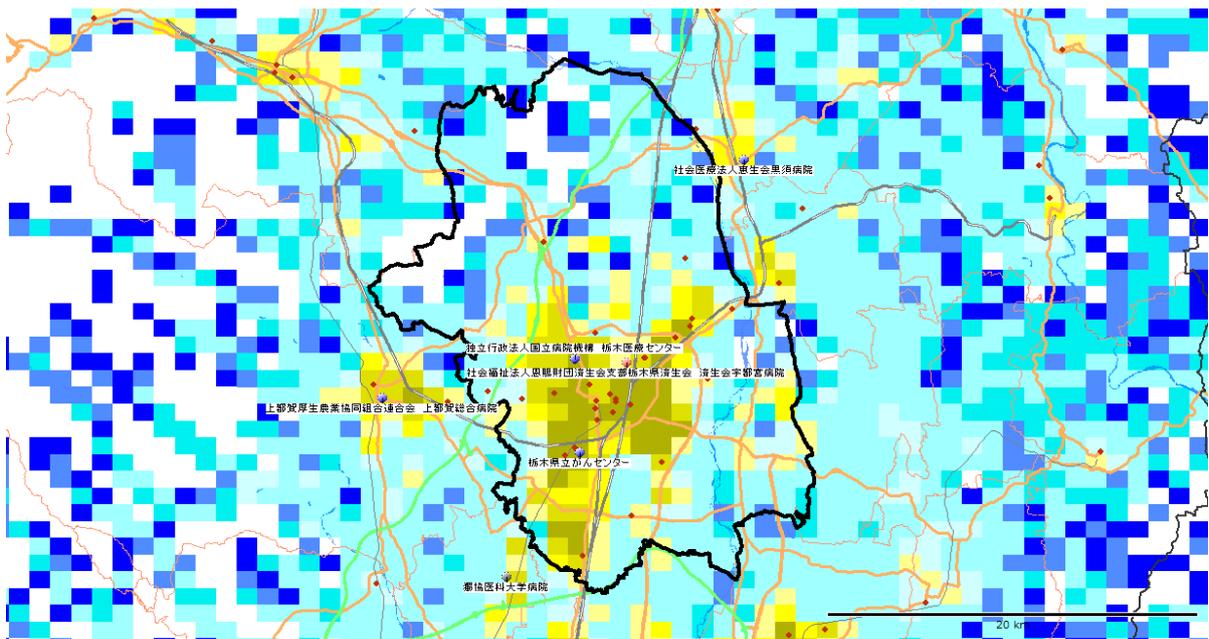
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



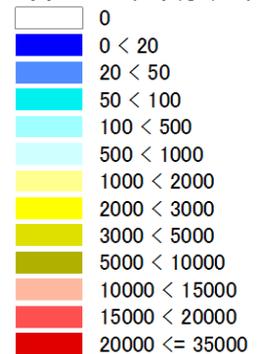
9-4. うつのみや 宇都宮医療圏

構成市区町村⁹ [宇都宮市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(宇都宮医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宇都宮(宇都宮市)は、総人口約519千人(2015年)、面積417km²、人口密度は1244人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宇都宮の総人口は2025年に503千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に464千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の53千人が、2025年にかけて80千人へと増加し(2015年比+51%)、2040年には89千人へと増加する(2025年比+11%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宇都宮の一人当たり医療費(国保)は316千円(偏差値44)、介護給付費は204千円(偏差値36)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宇都宮の一人当たり急性期医療密度指数²は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.91で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数42、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。宇都宮には、年間全身麻酔件数が2000例以上の済生会宇都宮病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の国立病院機構栃木医療センター(Ⅲ群)、栃木県立がんセンター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宇都宮の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5444人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3149床(偏差値48)、高齢者住宅等が2295床(偏差値50)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3643人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム41、軽費ホーム77、グループホーム42、サ高住63である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値41と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、723人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-57%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(宇都宮医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宇都宮医療圏の総人口は、2005年502396人が、2015年に518594人と3%増加し、2025年の人口が503047人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

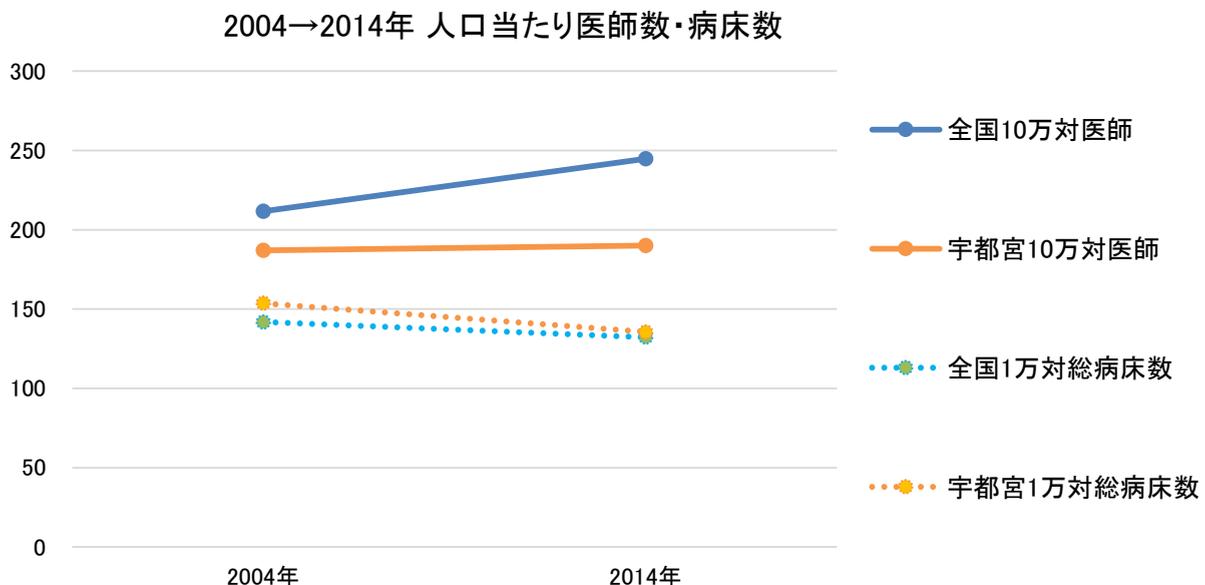
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が34(人口10万人当たり6.8病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に31(人口10万人当たり6病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が414(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に419(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、5診療所が増加した。

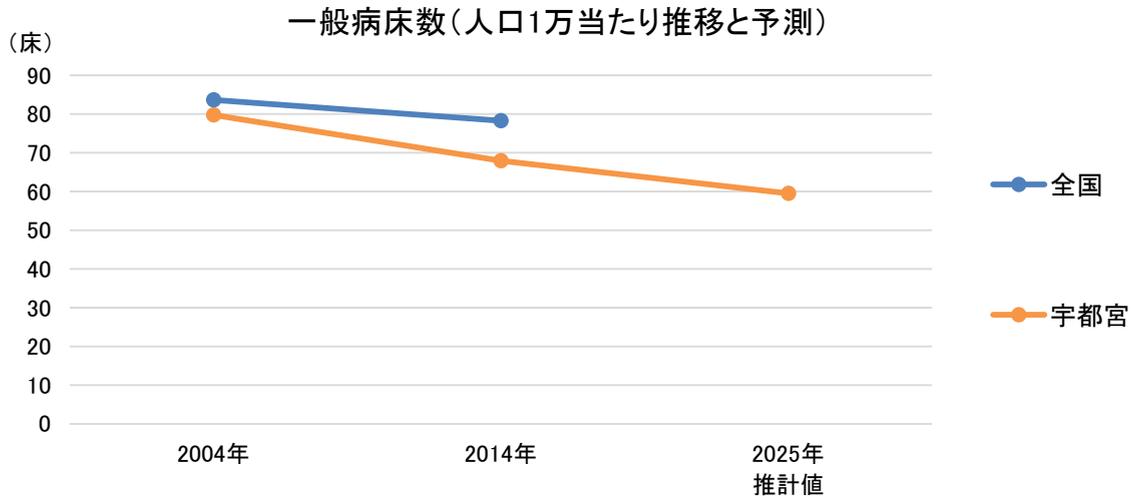
2004年の総病床数が7718床(人口1万人当たり154(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に7033床(人口1万人当たり136(全国平均132)偏差値51)と、685床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が940人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に986人(人口10万人当たり190人(全国平均245人)偏差値44)と、46人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



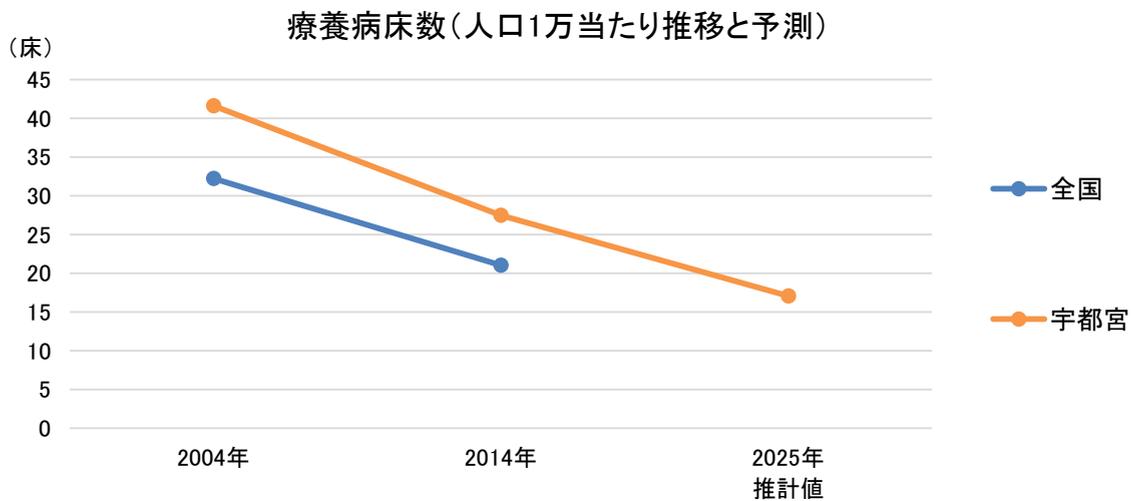
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4009床(人口1万人当たり80(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に3525床(人口1万人当たり68(全国平均78)偏差値46)と、484床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2993床(2025年の推計人口1万人当たり59)になることが予想される。



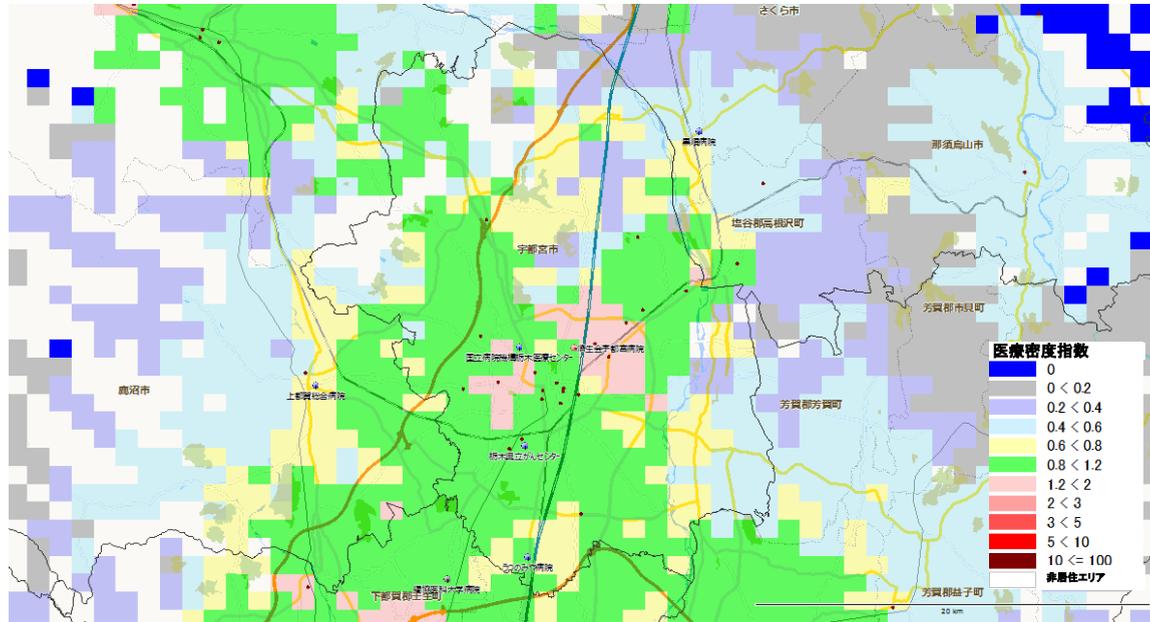
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1548床(75歳以上1000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に1464床(75歳以上1000人当たり27(全国平均21)偏差値55)と、84床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1372床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



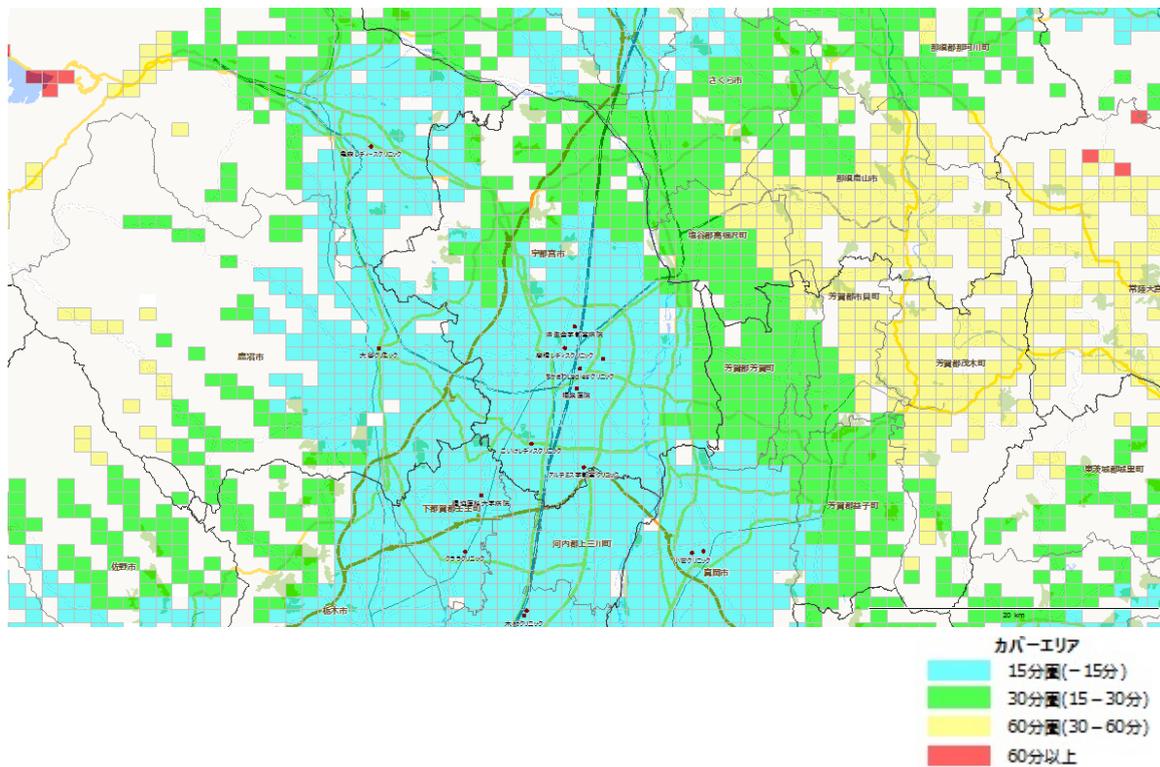
(宇都宮医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表9-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-4-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

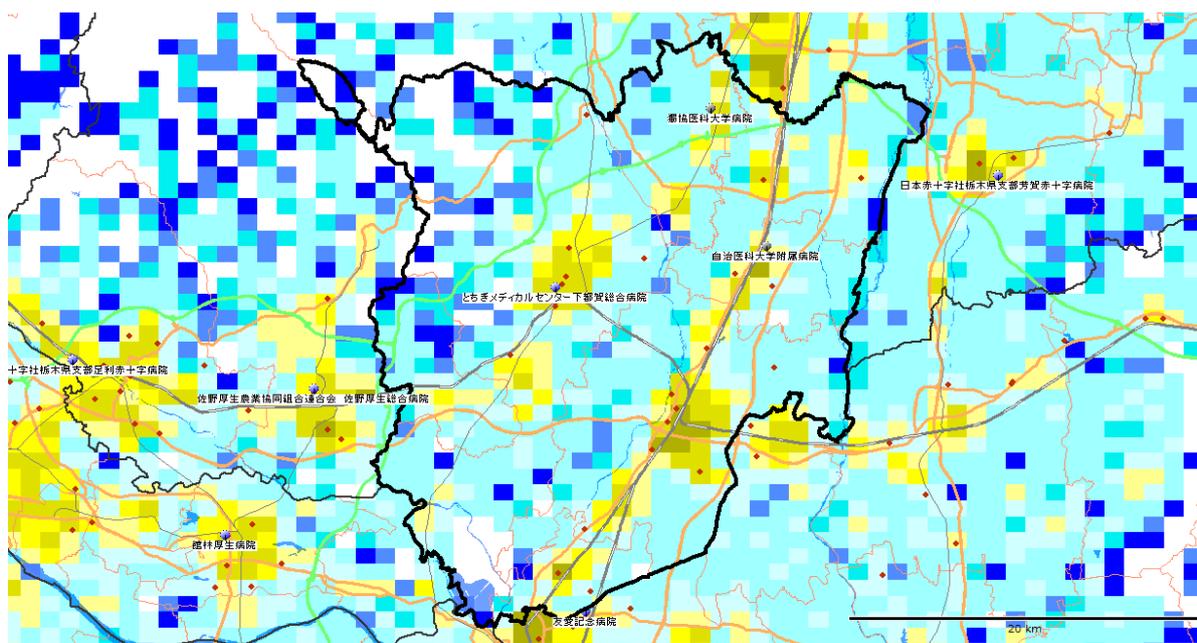
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



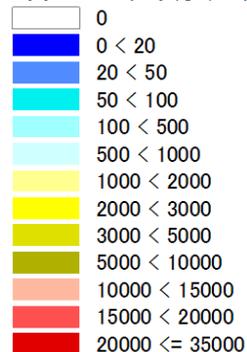
9-5. けんなん 県南医療圏

構成市区町村⁹ [栃木市](#) [小山市](#) [下野市](#) [上三川町](#)
[壬生町](#) [野木町](#) [岩舟町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(県南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県南(栃木市)は、総人口約482千人(2015年)、面積724km²、人口密度は666人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県南の総人口は2025年に455千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に401千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の54千人が、2025年にかけて75千人へと増加し(2015年比+39%)、2040年には82千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県南の一人当たり医療費(国保)は317千円(偏差値44)、介護給付費は232千円(偏差値44)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県南の一人当たり急性期医療密度指数²は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.75で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が66(病院医師数72、診療所医師数48)と、総医師数、特に病院医師数は非常に多いが、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は61と多い。県南には、年間全身麻酔件数が2000例以上の獨協医科大学病院(I群・救命)、自治医科大学附属病院(I群・救命)、500例以上の新小山市民病院(III群)、下都賀総合病院(III群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5255人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3436床(偏差値51)、高齢者住宅等が1819床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4496人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム41、軽費ホーム52、グループホーム46、サ高住54である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、502人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-39%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県南医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

県南医療圏の総人口は、2005年485651人が、2015年に481691人と1%減少し、2025年の人口が454501人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

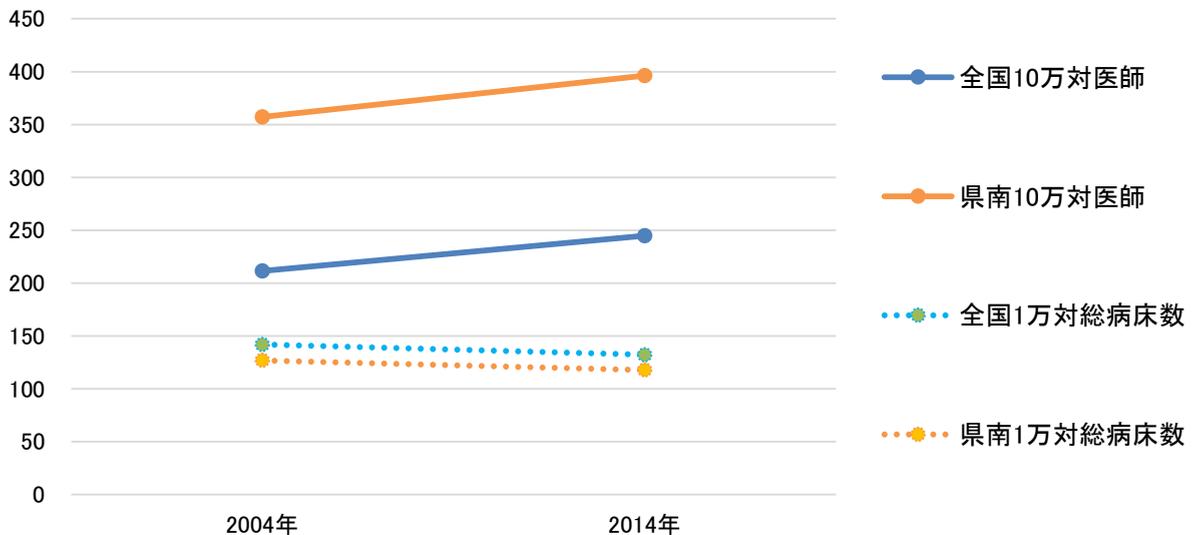
2004年の病院数が27(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に24(人口10万人当たり5病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が324(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に353(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、29診療所が増加した。

2004年の総病床数が6163床(人口1万人当たり127(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に5674床(人口1万人当たり118(全国平均132)偏差値47)と、489床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

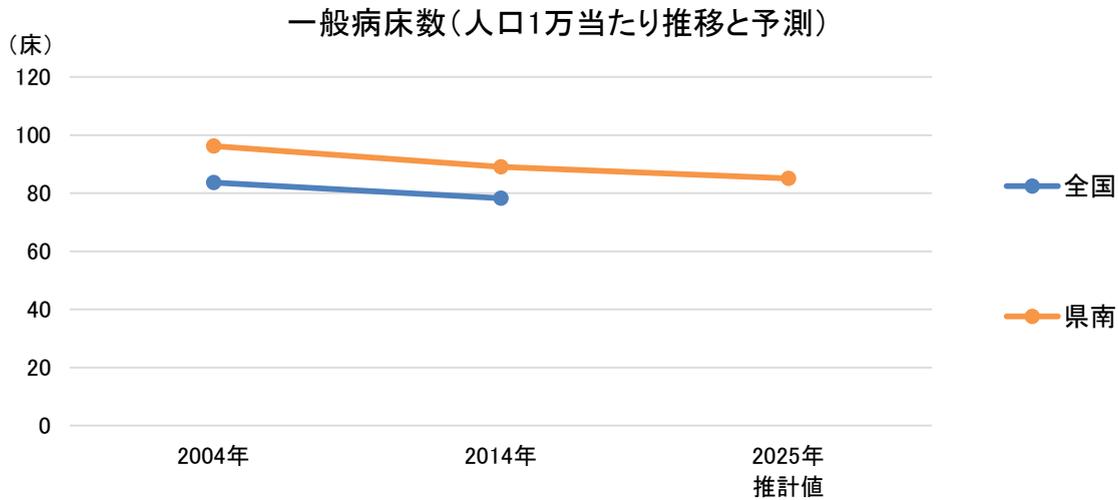
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1735人(人口10万人当たり357人(全国平均212人)偏差値67)であったが、2014年に1908人(人口10万人当たり396人(全国平均245人)偏差値66)と、173人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



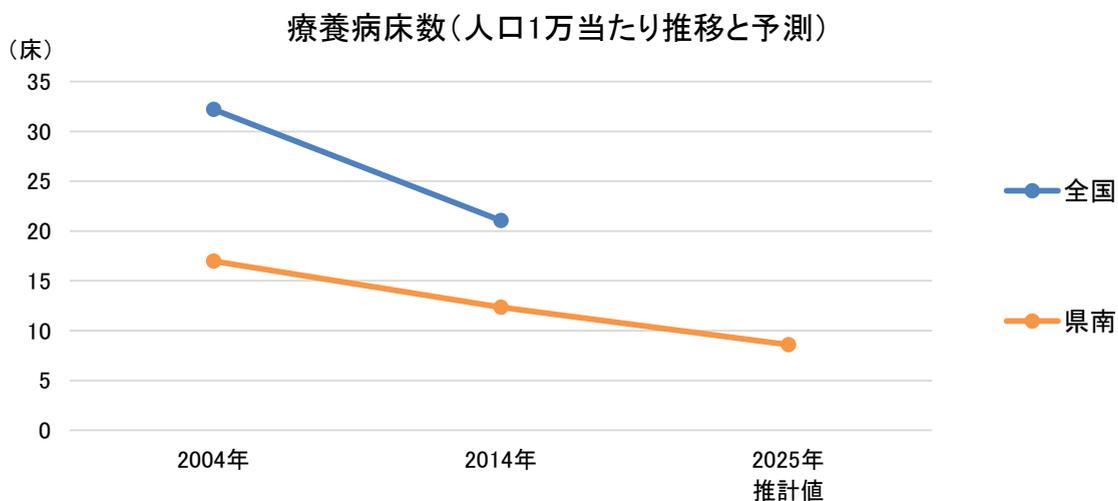
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4673床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に4288床(人口1万人当たり89(全国平均78)偏差値54)と、385床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3865床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



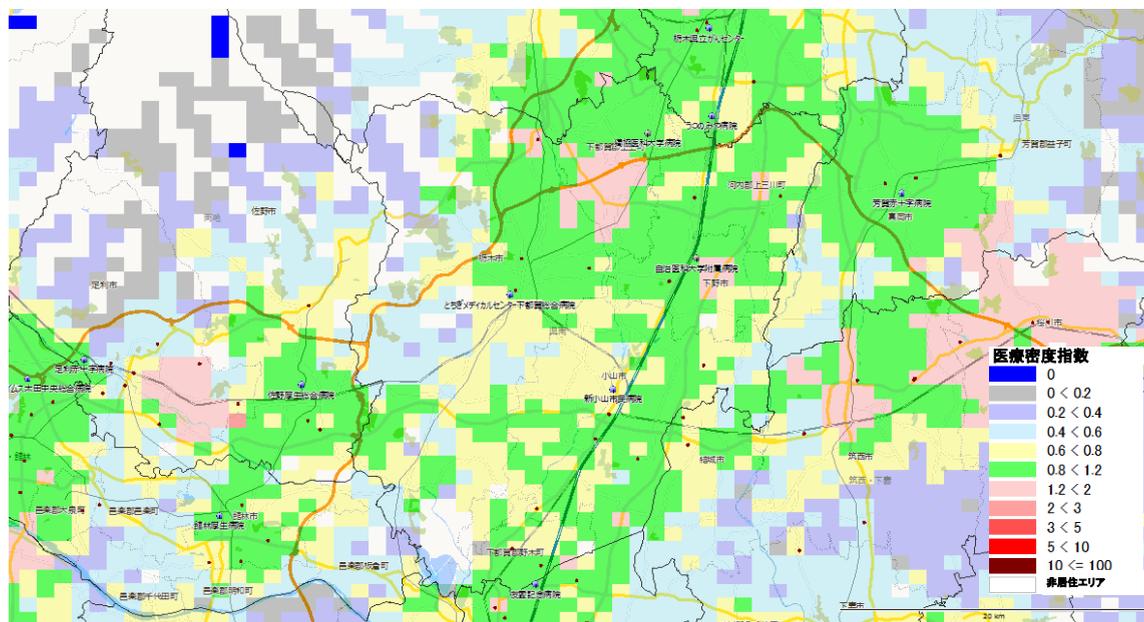
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が698床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に673床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値43)と、25床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には646床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。



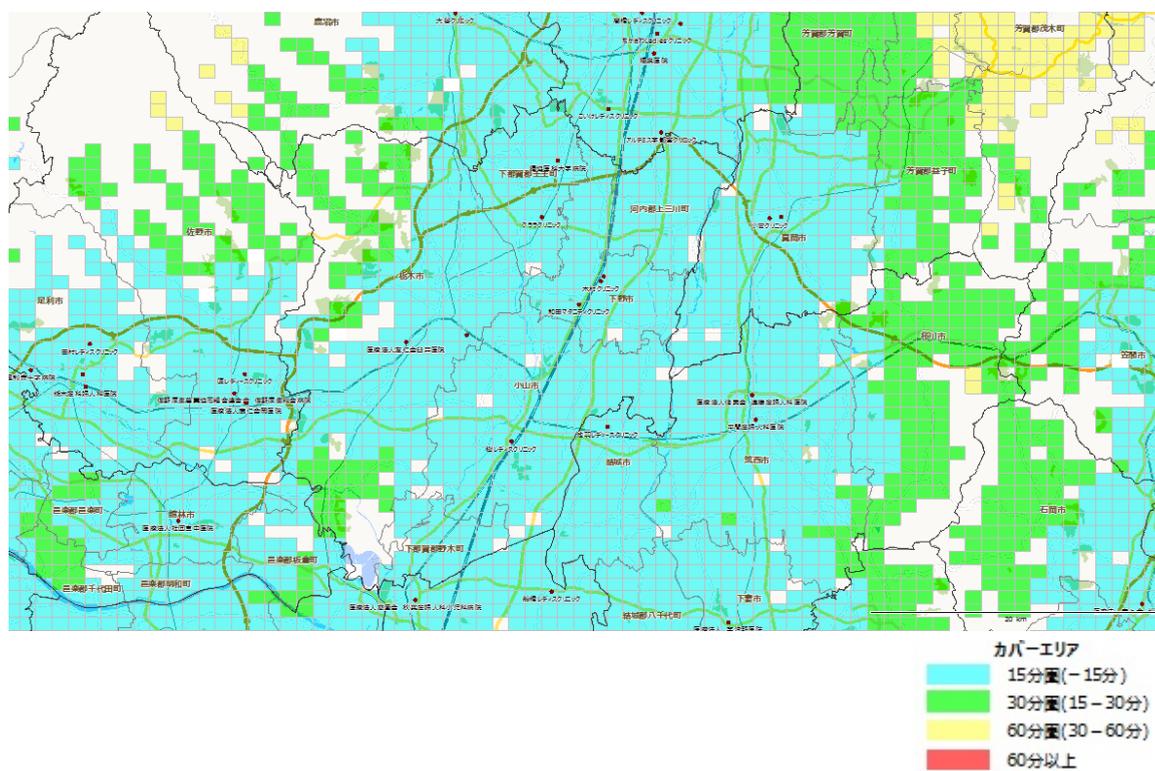
(県南医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表9-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

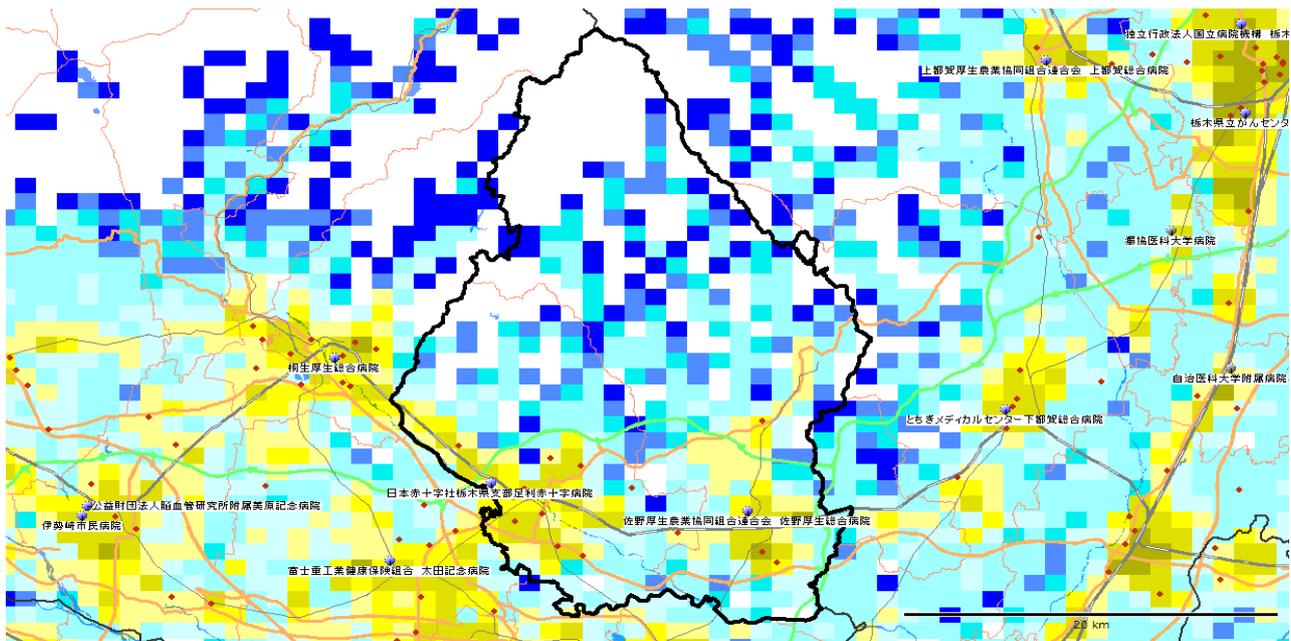
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



9-6. りょうもう 両毛医療圏

構成市区町村⁹ [足利市](#) [佐野市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(両毛医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 両毛(足利市)は、総人口約268千人(2015年)、面積534km²、人口密度は503人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 両毛の総人口は2025年に241千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に199千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて47千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には44千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 両毛の一人当たり医療費(国保)は308千円(偏差値42)、介護給付費は238千円(偏差値46)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 両毛の一人当たり急性期医療密度指数²は0.99、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.1で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数45、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。両毛には、年間全身麻酔件数が2000例以上の足利赤十字病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の佐野厚生総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 両毛の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3525人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2072床(偏差値46)、高齢者住宅等が1453床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3072人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム44、軽費ホーム55、グループホーム45、サ高住58である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、386人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-30%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(両毛医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

両毛医療圏の総人口は、2005年283682人が、2015年に268371人と5%減少し、2025年の人口が240793人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

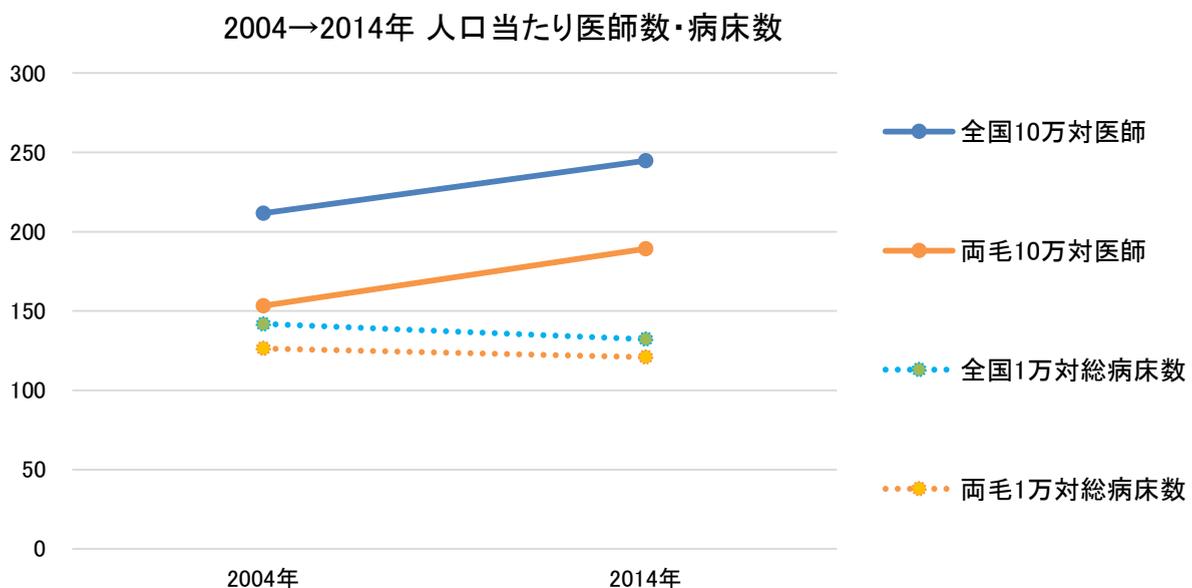
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が18(人口10万人当たり6.3病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に17(人口10万人当たり6.3病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が198(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に210(人口10万人当たり78診療所(全国平均79)偏差値50)と、12診療所が増加した。

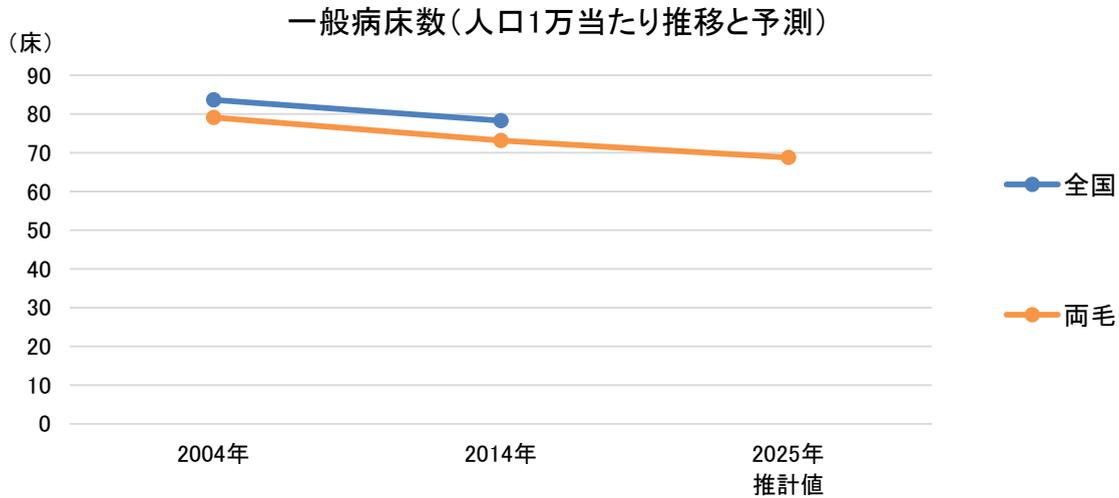
2004年の総病床数が3586床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に3246床(人口1万人当たり121(全国平均132)偏差値48)と、340床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が435人(人口10万人当たり153人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に508人(人口10万人当たり189人(全国平均245人)偏差値44)と、73人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



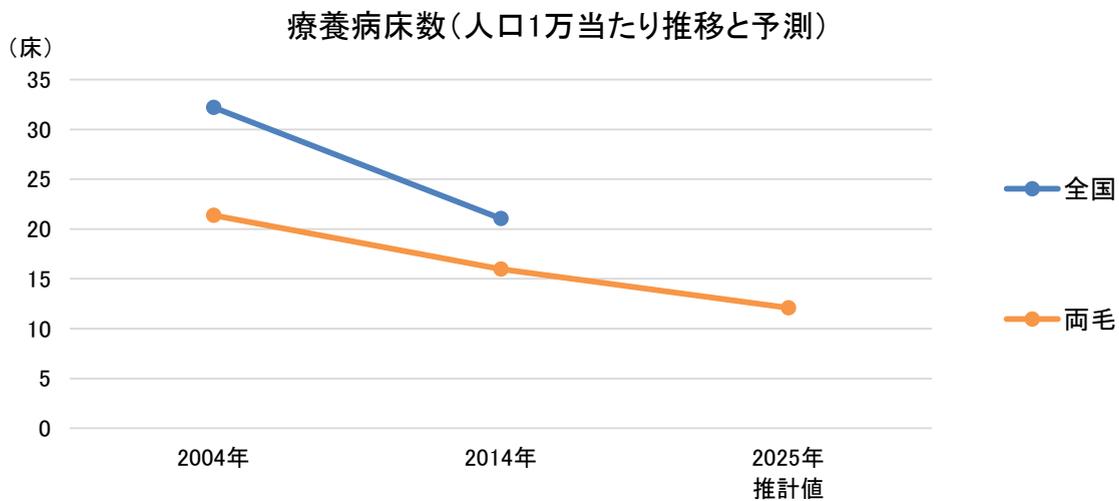
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2243床(人口1万人当たり79(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に1963床(人口1万人当たり73(全国平均78)偏差値48)と、280床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1655床(2025年の推計人口1万人当たり69)になることが予想される。



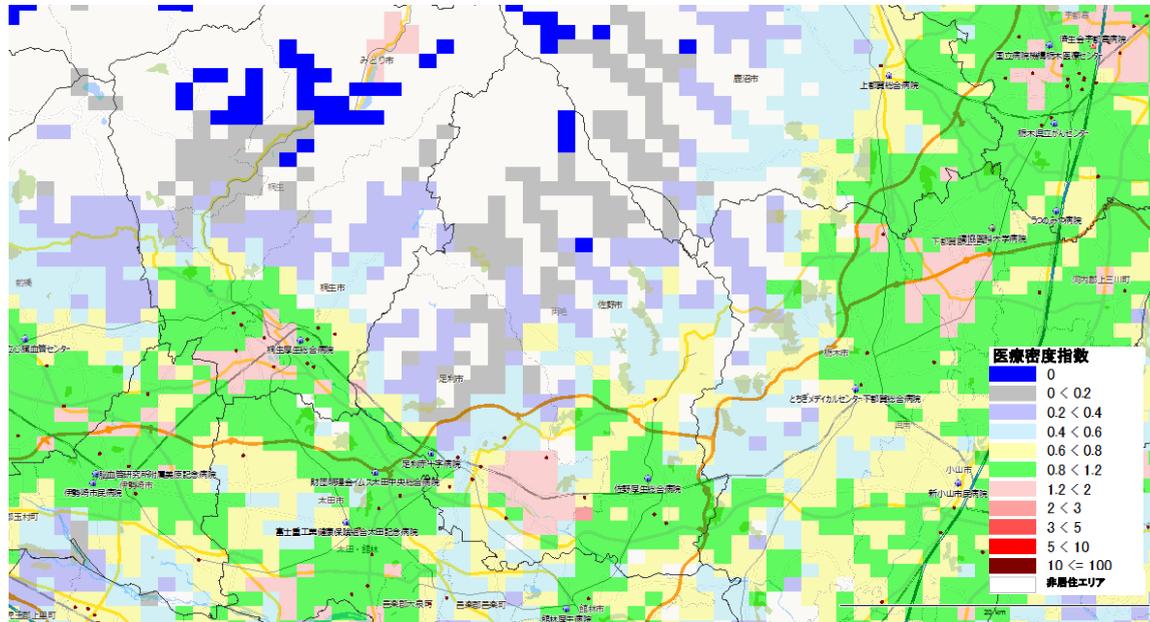
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が615床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2014年に590床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、25床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には563床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



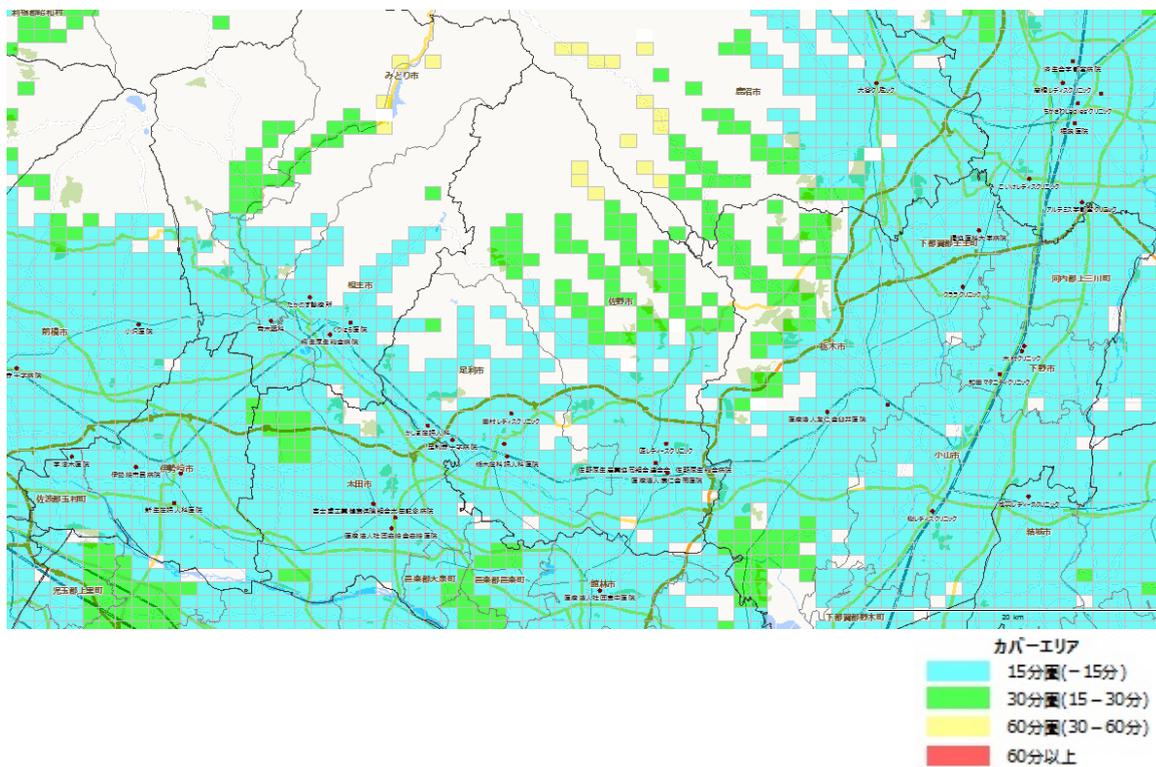
(両毛医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表9-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



9.栃木県(2017年版)

注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.1+(75歳以上人口)×5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。